

FZ-CTシリーズ/FX-CTシリーズ

宝石用天びん

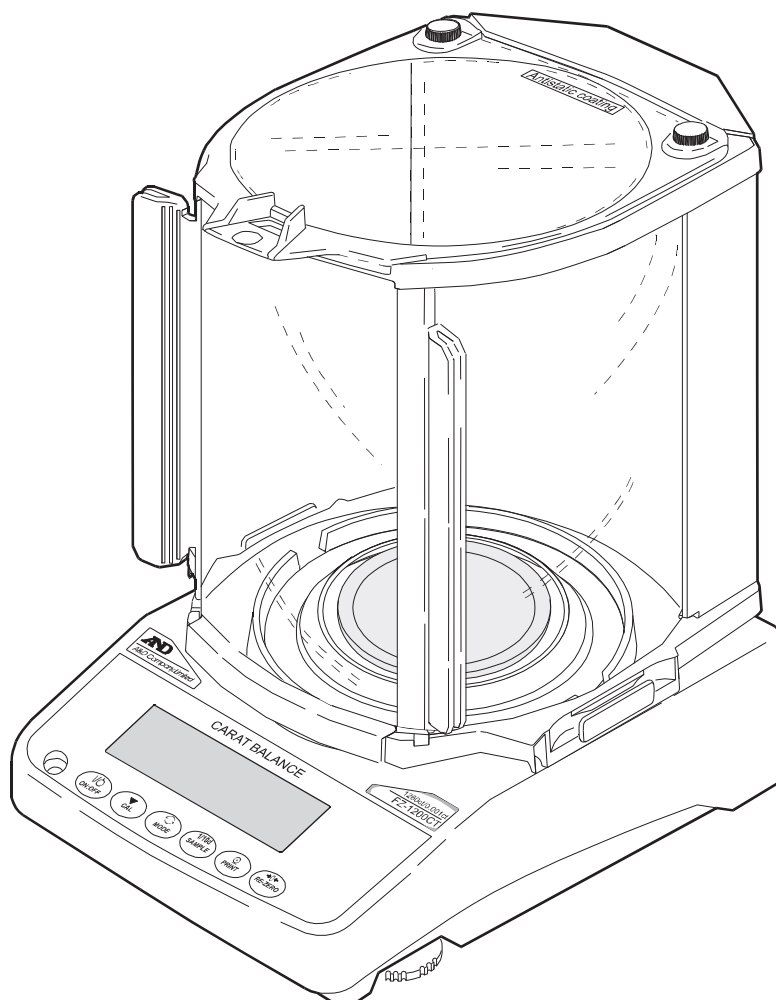
取扱説明書

FZ-CT シリーズ (校正分銅内蔵)

FZ-1200CT / FZ-700CT / FZ-500CT

FX-CT シリーズ

FX-1200CT / FX-700CT / FX-500CT



注意事項の表記方法



危険

この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。



警告

この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

注意

正しく使用するための注意点の記述です。

お知らせ

機器を操作するのに役立つ情報の記述です。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りの弊社営業所へご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2012 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

Microsoft、Windows、Excel、Word は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

目次

1.	はじめに	3
1-1.	特長	3
2.	製品構成（各部の名称）、設置と注意	4
2-1.	組立	5
2-2.	計量前の注意（設置条件と計量準備）	6
2-3.	計量中の注意（より精密な計量を行うために）	7
2-4.	計量後の注意（天びんの保守管理）	8
2-5.	電源について	8
3.	表示とキーの基本操作（基本動作）	9
4.	計量	10
4-1.	基本的な計量	10
5.	計量スピードの変更	12
6.	キャリブレーション（天びんの感度調整 / 校正）	13
6-1.	ワンタッチ・キャリブレーション（FZ-CTシリーズ内蔵分銅によるキャリブレーション）	14
6-2.	内蔵分銅によるキャリブレーション・テスト（FZ-CTシリーズのみ）	15
6-3.	お手持ちの分銅によるキャリブレーション	16
6-4.	お手持ちの分銅によるキャリブレーション・テスト	17
6-5.	内蔵分銅値の補正1（FZ-CTシリーズのみ）	18
6-6.	内蔵分銅値の補正2（FZ-CTシリーズのみ）	19
7.	機能選択と初期化	20
7-1.	機能選択	20
7-2.	初期化	22
8.	内部設定	23
8-1.	内部設定の表示と操作キー	23
8-2.	項目一覧	24
8-3.	環境・表示の解説	28
8-4.	データ出力の解説	29
8-5.	データフォーマットの解説	31
8-6.	データフォーマットの出力例	33
8-7.	単位（モード）登録の解説	34
8-8.	個数計量	35
8-9.	%計量モード（パーセント計量モード）	37
8-10.	アプリケーションの解説	38
8-11.	統計演算機能	38
8-12.	コンパレータの解説	43
8-13.	日付・時刻の確認と設定方法（FZ-CTシリーズのみ）	44
9.	GLPとIDナンバ	45
9-1.	主な用途	45
9-2.	IDナンバの設定	45
9-3.	GLP出力	46
10.	床下ひょう量金具	51
11.	パスワード機能	52
11-1.	天びんソフトウェアバージョン 1.70～1.85	52
11-2.	天びんソフトウェアバージョン 1.860以降	52
11-3.	パスワード機能を有効にする	54

11-4.	計量スタート時のパスワードの入力方法.....	55
11-5.	ログアウト方法.....	57
11-6.	パスワードの登録（変更）	58
11-7.	パスワードの変更方法.....	59
11-8.	パスワードの削除方法（USER 01～10）	60
11-9.	パスワードを忘れてしまった場合.....	60
12.	RS-232Cインタフェース	61
12-1.	インタフェースの仕様.....	61
12-2.	周辺機器との接続.....	62
12-3.	コマンド	65
13.	キーロック機能	68
13-1.	すべてのキースイッチをロックする	68
13-2.	指定したキースイッチをロックする	68
14.	天びんのソフトウェアバージョンの確認	69
15.	保守.....	70
15-1.	お手入れ	70
16.	トラブル（故障）への対応.....	71
16-1.	天びんの動作確認や測定環境、測定方法の確認.....	71
16-2.	エラー表示（エラーコード）	72
16-3.	その他の表示	73
16-4.	修理依頼	73
17.	オプション・別売品.....	74
17-1.	オプション	74
17-2.	別売品	75
18.	仕様.....	77
18-1.	外形寸法図.....	79
19.	CEマーキング	80
20.	用語と索引.....	81

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの電子天びんをお買い求めいただきありがとうございます。

本書は FZ-CT/FX-CTシリーズ用に作成された取扱説明書です。天びんを理解し十分に活用していただくために、使用前に本書をよくお読みください。

※ 天びんのソフトウェアバージョンによって動作が異なる部分があります。天びんのソフトウェアバージョンの確認は「14. 天びんのソフトウェアバージョンの確認」を参照してください。

本書の構成

基本編 …………… 基本的な操作・計量方法と注意事項を記述しています。

天びんの適性化 …………… 天びんを設置した場所の風や振動の状態（使用環境）に対応して計量スピード（応答特性）を調整する機能と、天びんの感度調整についての説明です。

機能の活用 …………… 天びんに備わった機能の説明です。

インタフェースの活用 …………… 天びんの計量値を出力したり、天びんを制御するコマンドを入力するインタフェースです。使用するには、パソコンまたは、オプション・プリンタが必要です。

保守管理 …………… 天びんの保守や、トラブル（故障）が生じた場合の説明です。

1-1. 特長

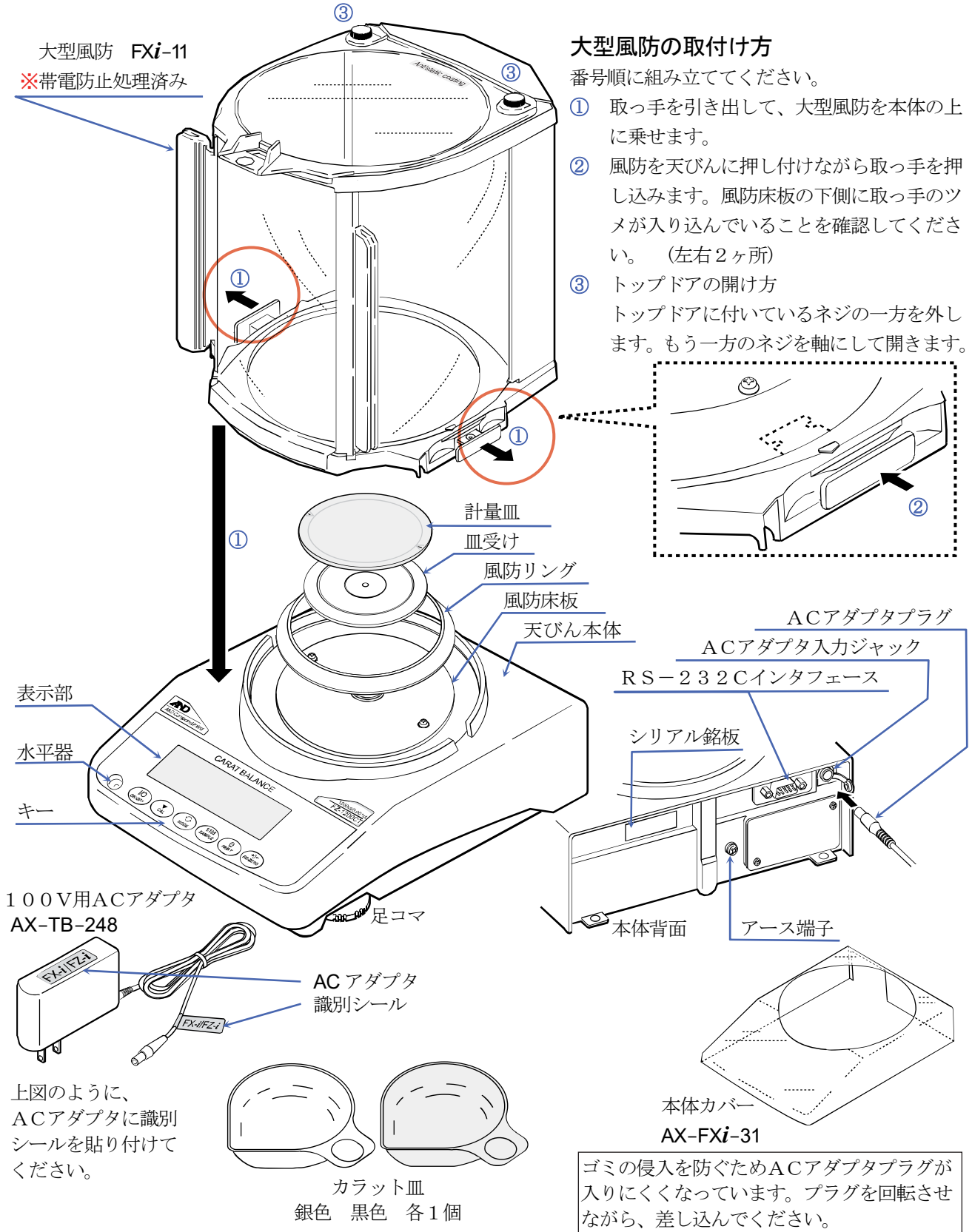
- 設置場所を選ばないコンパクトな汎用天びんです。
- より精密な計量ができるように、標準で大型風防が付属しています。
- 風防はワンタッチで取り外せ、清掃が容易です。また、ゴミ、液体の侵入に対して強いケーシング構造を採用しています。
- 宝石測定用の専用皿（カラット皿）が標準で付属しています。
- 5種類の計量モード **g**（グラム）、**PCS**（個数）、**%**（パーセント）、**ct**（カラット）、**mom**（もんめ）を選択できます。出荷時設定では、**ct**、**g** および **mom** が登録されており **[MODE]** キーで切替可能です。
- 天びんの計量値やデータを出力する RS-232C インタフェースを標準装備し、GLP/GMP 等に対応した保守記録を出力できます。
 - ※ GLP は、「医薬品の安全性試験の実施に関する基準」（Good Laboratory Practice）、GMP は、「製造管理および品質管理規則」（Good Manufacturing Practice）です。
- FZ-CT シリーズには時計機能が内蔵されていますので、日付・時刻付きで計量値をプリンタ等に出力できます。（時計の設定変更を管理者のみに限定することも可能です・・・パスワード機能）
- パスワード機能により、天びんの使用者や内部設定の変更を制限することができます。
- キーロック機能により、天びんのキー操作を無効にして、外部機器からのコマンドのみで動作させられます。
- 計量値の、合計、最大、最小、範囲（最大—最小）、平均、標準偏差、変動係数や相対誤差を表示・出力する統計演算機能がついています。
- **[HI]** **[OK]** **[LO]** により、コンパレータ結果を表示できます。
- つり下げ計量が可能となる床下ひょう量金具を標準装備しています。
- 動物計量にも対応できる表示ホールド機能付きです。
- オプションとして、USB インタフェース (FXi-02)、イーサネットインタフェース (FXi-08)、内蔵バッテリー (FXi-09) を用意してあります。

USB インタフェースでは、パソコンとケーブルを接続するだけで Excel や Word へ計量値の通信が可能になります。イーサネットインタフェースでは、LAN を介して天びんとパソコンを接続できます。また、内蔵バッテリーを天びんに組み込むことで、電源のない場所でも計量が可能になります。
- 外部表示器 AD-8920A を接続することで、計量結果を、天びんから離れた場所や別の角度から確認できるようになります。外部表示器の電源は、FZ-CT/FX-CT シリーズから供給されますので、ケーブルの取りまわしが簡素化されます。

2. 製品構成（各部の名称）、設置と注意

本製品は精密機器ですので、開梱時の取り扱いには気をつけてください。梱包箱や梱包材は修理時の輸送に使う場合がありますので、保管をお勧めします。

精密な測定のため大型風防を取り付けて使用してください。



注意

- 天びんは指定された専用ACアダプタを使用してください。
- 付属のACアダプタは他の機器には接続しないでください。
- 使用するACアダプタを間違えると、天びん及びその他の機器が正しく動作しない可能性があります。

2-1. 組立

1. 前項の「製品構成」を参考にしながら、天びんを組み立ててください。
皿受け、計量皿、風防リングを設置し、大型風防を取り付けます。
 2. 水平器の赤い円の中に気泡が入るように、足コマを回して天びんの水平を合わせてください。
 3. 天びん背面のACアダプタ入力ジャックにACアダプタを差し込み※、もう一方のプラグをコンセントに差し込んでください。(使用前に1時間以上通電してください)
- ※ ACアダプタプラグが入りにくい場合は、回転させながら差し込んでください。

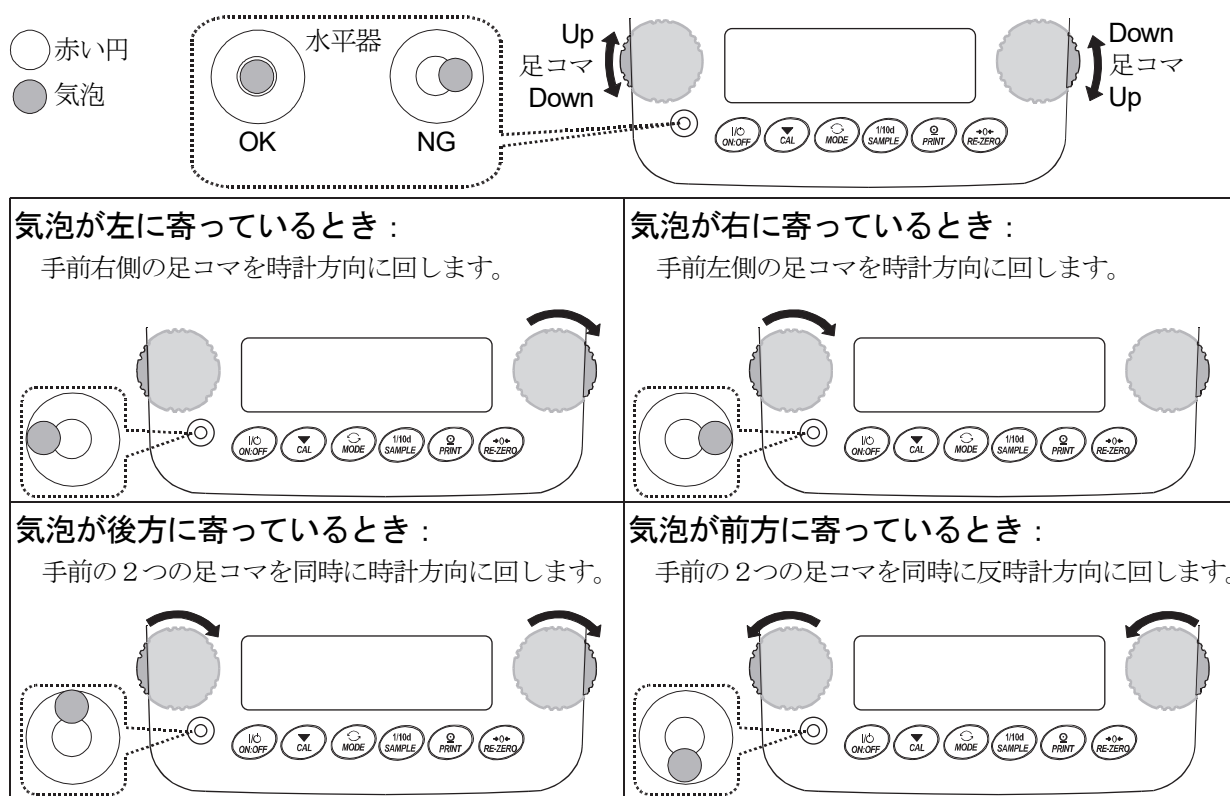
2-2. 計量前の注意（設置条件と計量準備）

電子天びんの性能を十分に引き出すために、下記の設置条件を整えてください。

- 理想的な設置条件は、 $20^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ 、湿度45～60%RHの安定した環境です。
- 塵埃の少ない部屋に設置してください。
- 天びん台は堅固なものを使用してください。（防振台、石盤が理想です）
- 部屋の中央よりもすみのほうが、また建物の2階・3階よりも1階のほうが振動が小さく、計量に適しています。
- エアコン等の近くに天びんを設置しないでください。
- 直射日光のあたらない場所に設置してください。
- 磁気を帯びた機器の近くに天びんを置かないでください。
- 水平器の赤い円の中に気泡が入るように、足コマを回して天びんの水平を合わせてください。
- 使用前には、ACアダプタを天びんに接続した状態で1時間以上通電してください。
- 天びんを初めて使用する場合、使用する場所を変えた場合や計量を始めるときには、正しく計量できるよう、天びんを室温になじませた後、必ずキャリブレーションを行ってください。

「6. キャリブレーション（天びんの感度調整 / 校正）」を参照してください。

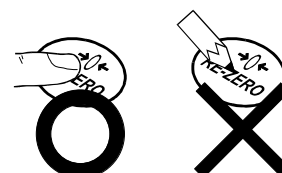
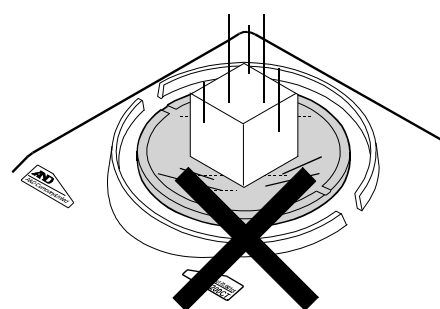
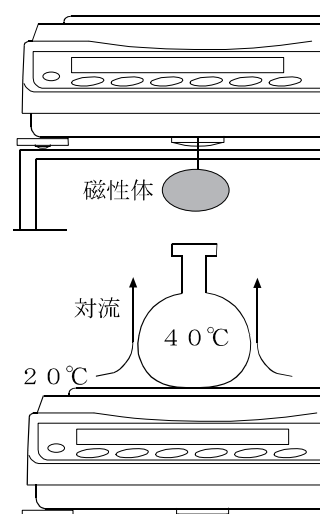
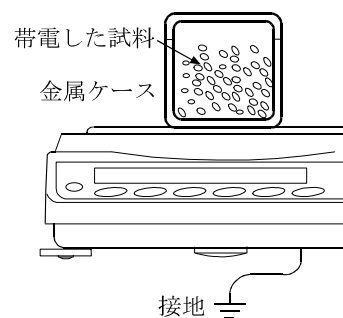
⚠️ 注意 腐食性ガス、引火性ガスが漂うところに設置しないでください。



2-3. 計量中の注意（より精密な計量を行うために）

正確な計量を行うためには、下記の事項に注意してください。

- 静電気の影響により、計量誤差を生じることがあります。周囲の湿度が45%RH以下になるとプラスチック等の絶縁物は静電気を帯びやすくなります。必要に応じて下記の対処を行い、天びん本体を接地してください。
 - 別売品の除電器 AD-1683 を使い、試料の静電気を直接除去する。
 - 天びんの設置場所の相対湿度を高くする。
 - 帯電している試料は導電性の金属製容器等に入れて計量する。
 - プラスチック等の帯電物は湿った布で拭いて静電気を抑える。
- 磁気の影響により計量値に誤差が入ることがあります。磁性体（鉄など）を測定する場合は、床下計量等の方法により天びん本体と試料とを遠ざけてください。
- 周囲の温度と計量物（風袋を含む）の温度に差があると、計量誤差が生じることがあります。例えば、室温20℃のときに40℃のフラスコの周囲には対流が生じて本来の重さよりも軽く表示されます。計量物や風袋はできるだけ周囲の温度になじませてから測定してください。
- 計量操作は丁寧に素早く行ってください。測定に時間がかかると、試料に含まれる水分の蒸発や吸湿が起きて誤差要因が多くなります。計量操作時に風防内に手など入れないようにするため、長いピンセットの使用をお勧めします。
- 計量皿には、衝撃的な荷重やひょう量を越えた荷重を載せないでください。また、計量物は皿の中央に載せてください。
- キーを押すときはペンなど先の尖ったもので押さずに、指でキーの中央を押してください。
- 測定誤差を減らすために計量前に必ず **RE-ZERO** キーを押してください。
- 測定結果には空気の浮力の誤差が含まれています。空気の浮力は試料体積や大気圧、温度、湿度によって変わります。精密な測定には浮力の補正を行ってください。
- 天びん内に異物が入らないように注意してください。（粉体、液体、金属片など）
- 標準付属の風防部品は帯電防止処理が施されていますが、梱包から取り出した後しばらくの間帯電していることがあります。また湿度が低いときには、帯電することもあります。別売品の除電器 AD-1683 や、市販の帯電防止剤を使用することにより除電することができます。



2-4. 計量後の注意（天びんの保守管理）

- 天びん本体に衝撃を加えたり、落とさないでください。
- 天びんを分解しないでください。
- 天びん内に埃や水が入らないようにしてください。
- 天びんの清掃について。

有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

天びん本体 計量皿	本体の清掃には、中性洗剤を湿らせた柔らかく埃の出ない布を使用してください。 計量皿を清掃するときには、端面で手を傷つけないようにしてください。
風防	標準付属の風防部品は帯電防止処理が施されています。柔らかく埃の出ない布で乾拭きしてください。中性洗剤や水を湿らせた布で繰り返し清掃したり、水洗い等を行うと帯電防止効果が低下することがあります。

2-5. 電源について

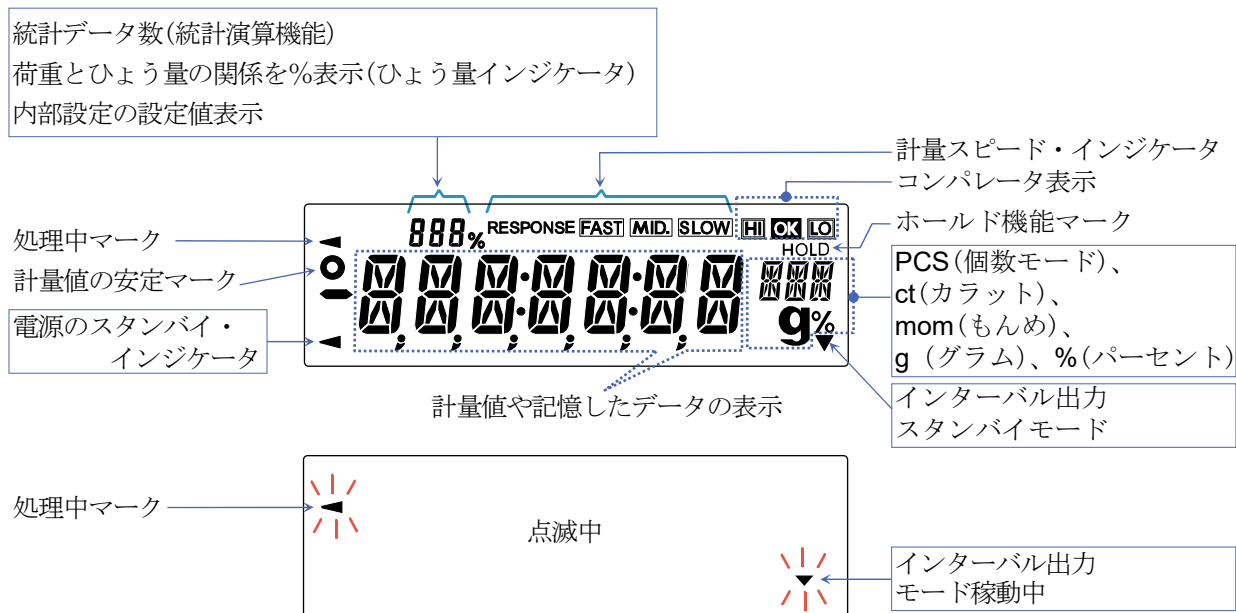
この電子天びんは、ACアダプタが接続されている限り、表示が出なくても常に通電状態となっています。安定した計量を行うためには、できる範囲で連続通電してください。

連続的に通電状態とすることで天びんに悪影響を及ぼすことはありません。

正確に計量するためには、天びんが設置された部屋の温度になじんでからさらに、使用前に1時間以上の通電を行うことをお勧めします。

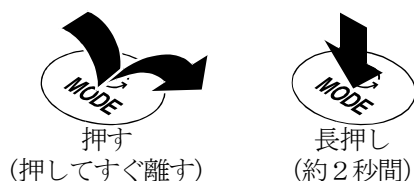
3. 表示とキーの基本操作（基本動作）

表示内容



キー操作

キーを「押してすぐ離す」場合と「長押し（約2秒間）」の場合では、天びんの動作が異なります。通常の計量操作では、キーを「押してすぐ離す」です。必要がない限り、キーを押し続けしないでください。

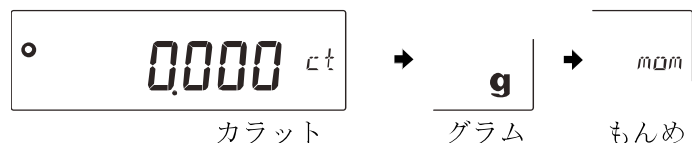


キー	キーを押した場合（押してすぐ離す）	キーを長押し（約2秒間）
ON/OFF	表示をオン/オフするキーです。表示をオフすると、スタンバイ・インジケータのみ表示します。表示をオンすると、計量が可能になります。パスワード機能が有効の場合、パスワード入力表示になります。「11-4. 計量スタート時のパスワードの入力方法」を参照してください。 ON/OFF キーはいつでも有効で、操作中に ON/OFF キーを押せば必ず表示オフになります。	
1/10d SAMPLE	計量表示にて押すと、最小表示の桁をオン/オフします。個数・パーセント表示にて押すと、登録モードに入ります。	内部設定のメニューを表示します。「8. 内部設定」参照してください。
MODE	内部設定で登録した単位を切り替えます。 (g, PCS, %, ct, mom) 出荷時は、PCS → g → mom 順に切り替わります。	計量スピードの変更のモードに入ります。
CAL	FZ-CTシリーズは、内蔵分銅によるキャリブレーションモードに入ります。(ワンタッチ・キャリブレーション) 内部設定モードの時は、操作をキャンセルします。	外部分銅（お手持ちの分銅による）キャリブレーションモードに入ります。
PRINT	内部設定により安定時に計量値データを出力します。各種設定時は、操作を確定します。	出荷時設定では機能なし。内部設定変更により、GLP/GMP等に対応した「見出し」「終了」を出力します。（「9-3. GLP出力」参照）
RE-ZERO	表示をゼロにします。	

4. 計量

出荷時設定は、**ct** (カラット)[※]、**g** (グラム)および **mom** (もんめ)の3種類が登録されています。

MODE キーを押すと、表示の単位 (モード) が下図のとおり切り替わります。



その他の単位を使用する場合は、「8-7. 単位 (モード) 登録の解説」を参照し、単位登録を行ってください。

- ※ 「カラット」は、宝石類を計量するときの単位で、1カラット=0.2gです。
- 「もんめ」は、真珠を計量するときの単位で、1もんめ=3.75gです。

4-1. 基本的な計量

- MODE** キーを押して単位を選択します。(カラット、グラム、もんめ)
ここでは、例としてカラットを選択します。
- カラット皿を載せ、**RE-ZERO** キーを押して **0000 ct** の表示にします。
- 計量物を載せ、安定マーク **◦** 表示後、計量値を読み取ります。
安定マーク点灯時に **PRINT** キーを押すと、計量値を外部に出力することができます。
※ プリンタ、パソコン、別売の周辺機器等が必要になります。
- 計量後、計量皿に載っているものを取り除いてください。

メモ

- **SAMPLE** キーを押すと最小表示の桁をオン/オフします。
- 容器等を載せた状態で **ON:OFF** キーを押して、計量スタートした場合は、ゼロ表示からスタートします。



ゼロ点設定、風袋引き、計量範囲について

□ 計量スタート時

天びんは電源 ON/OFF を押して計量モードになった時、基準となるゼロ点を決定します。
その際の荷重状態により、ゼロまたは風袋引きのどちらの動作を行うか自動で判別します。
判別条件は“パワーオンゼロ範囲”となり、パワーオンゼロ範囲を超えると風袋引きの動作となります。

□ リゼロ操作時

天びんは **RE-ZERO** キーを押すことで表示をゼロにすることができます。
RE-ZERO キーによるリゼロはゼロ点設定または風袋引きのどちらの動作を行うか自動で判別します。
判別条件は“ゼロ範囲”となり、ゼロ範囲を超えると風袋引きの動作となります。

□ 計量範囲

天びんは機種ごとに、計量表示できる範囲が決まっています。
各機種の最大表示までの総量（正味量 [風袋引き後の計量値] と風袋量の和）が最大表示を超えると、計量範囲オーバーとして **E** 表示をします。マイナスオーバー時には **-E** 表示をします。

機種	パワーオンゼロ範囲	ゼロ範囲	-E 表示範囲
FZ-1200CT, FX-1200CT	約±125ct (約±25g)	約±25ct (約±5g)	約-100ct (約-20g 未満)
FZ-700CT, FX-700CT	約±75ct (約±15g)	約±15ct (約±3g)	約-100ct (約-20g 未満)
FZ-500CT, FX-500CT	約±50ct (約±10g)	約±10ct (約±2g)	約-100ct (約-20g 未満)

5. 計量スピードの変更

簡単な操作で計量スピードを変更し、天びんを設置した場所の環境（振動や風の影響）に合わせるができます。

表示	内部設定	計量スピード	安定性
FAST	[ond 0]	応答が早い	振動、風に弱い
MID.	[ond 1]	↑ ↓	↑ ↓
SLOW	[ond 2]	応答が遅い	安定した表示

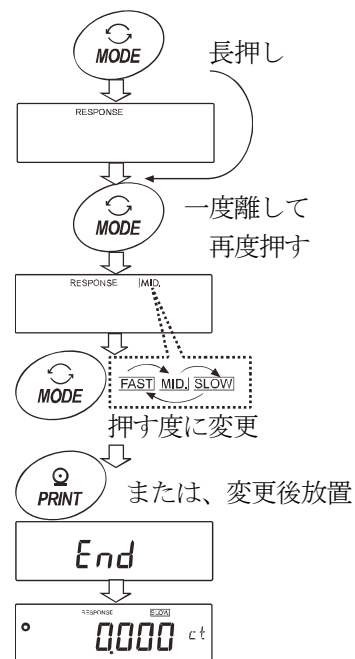


1. [MODE] キーを [RESPONSE] が表示されるまで長押しして、表示したらキーを離します。
2. [MODE] キーを押して設定を選択します。
（ [FAST]、 [MID] または、 [SLOW] のどれかを選択します。）
3. 放置するかまたは [PRINT] キーを押すと [End] 計量表示に戻り、一定時間、更新した状態を表示します。

メモ

計量スピードを設定すると、内部設定「環境・表示 (bRSFnc)」の「応答特性 ([ond])」と「表示書換周期 (SPd)」が下記の表のように変更になります。

表示	[ond (応答特性)]	SPd (表示書換周期)
FAST	0	1 (約 10 回/秒)
MID.	1	0 (約 5 回/秒)
SLOW	2	0 (約 5 回/秒)



上記以外の組み合わせで使用する場合は、内部設定にて個別に設定してください。

6. キャリブレーション（天びんの感度調整 / 校正）

天びんの分解能は高く、重力や日々の環境変化によって計量値が変化する可能性があります。重力や環境が変化しても計量値が変わらないようにするためには、分銅を用いてキャリブレーション（感度調整）を行う必要があります。天びんを新規設置または移設した場合や、日常点検等で計量値が著しくずれていた場合には、キャリブレーションを行うことをお勧めします。

調整とは、基準となる分銅または内蔵分銅を使用して、天びんの計量値を合わせ込むことです。

校正とは、基準となる分銅を天びんで計量し、基準値からどれだけずれているか比較することです。（校正では調整は行いません。）

キャリブレーション（感度調整）

内蔵分銅によるキャリブレーション-----内蔵分銅を使ってワンタッチで天びんを調整します。
(FZ-CTシリーズ)

お手持ちの分銅によるキャリブレーション-----お手持ちの分銅を使って天びんを調整します。

キャリブレーション・テスト（感度校正）

お手持ちの分銅によるキャリブレーション・テスト-----お手持ちの分銅を使って計量の正確さを確認した結果を出力します。
※調整は行いません。

キャリブレーションの注意

- キャリブレーション時には、付属の大型風防を必ず使用してください。
- キャリブレーション中は特に振動、風、温度変化に注意してください。
- キャリブレーションおよびキャリブレーション・テストでは、GLP/GMP等に対応した保守記録の出力が行えます。GLP/GMP等に対応した保守記録を出力するには、内部設定「データ出力 (dout)」の「GLP出力 (info)」を設定する必要があります。GLP出力にはパソコンまたはオプション・プリンタが必要です。
なお、キャリブレーション・テストは、GLP/GMP等に対応した保守記録の出力を設定しているときのみ有効な機能です。

お手持ちの分銅を使用するときの注意

- キャリブレーションで用いる分銅の正確さが、キャリブレーション後の天びんの精度を左右します。
- お手持ちの分銅によるキャリブレーションやキャリブレーション・テストに使用する分銅は、下の表から選んでください。

機種	使用可能分銅	入力可能な器差範囲
FZ-1200CT/FX-1200CT	250 g、200 g*、100 g、50 g、20 g	-0.0150 g ~ +0.0150 g
FZ-700CT/FX-700CT	150 g、100 g*、50 g、20 g	
FZ-500CT/FX-500CT	100 g、50 g*、20 g	

* は出荷時に設定されている分銅値です。

表示



「天びんがデータを取り込んでいるマーク」です。マークを表示しているときは、天びんが振動や風などの影響を受けないようにしてください。

6-1. ワンタッチ・キャリブレーション (FZ-CTシリーズの内蔵分銅によるキャリブレーション)

内蔵している校正用分銅を使用して、ワンタッチでキャリブレーションします。

(FX-CTシリーズは、ワンタッチ・キャリブレーション機能はありません。)

注意 水平器の気泡が、赤い円の中心にくるように足コマを回して天びんの水平を合わせてください。
水平調整が不十分であると、ワンタッチ・キャリブレーションの結果に誤差の発生することがあります。

1. 計量皿上に何も載せずに1時間以上、通電してください。
2. **CAL** キーを押すと **[CAL in]** を表示し、内蔵分銅を使って自動的にキャリブレーションを開始します。
周囲の風や振動に注意してください。
3. GLP出力を設定している場合、キャリブレーション後に「感度調整実行記録」を出力します。
(内部設定のGLP出力 (**info**) を参照。)
4. キャリブレーションを終了すると自動的に計量表示に変わります。

※ 内蔵分銅について

内蔵分銅は、使用環境・経年変化等により質量変化をおこす可能性があります。

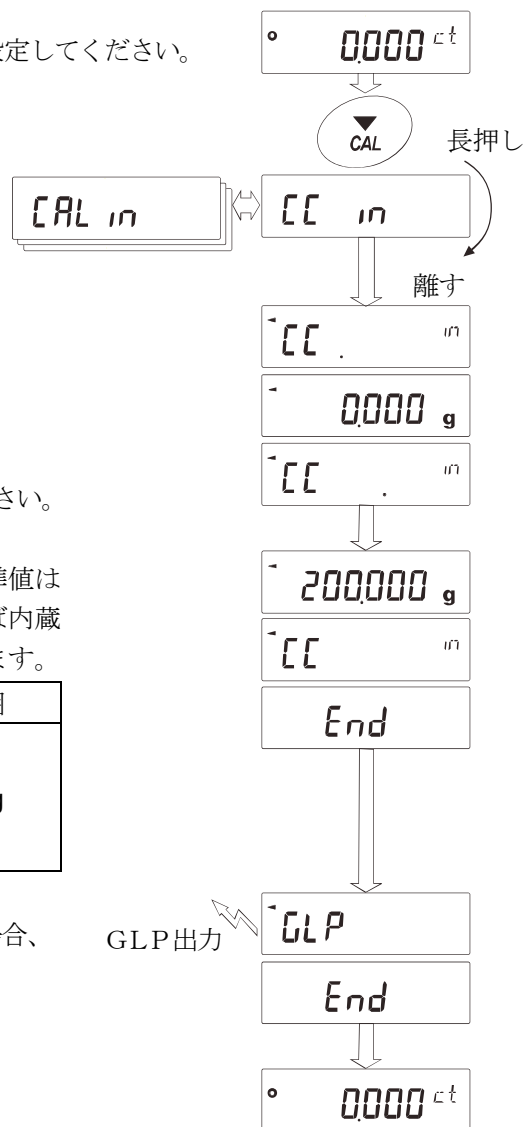
FZ-CTシリーズでは、外部分銅 (お手持ちの分銅) を基準に、内蔵分銅を補正することができます (内蔵分銅の調整)。より適切な計量管理を行うには、外部分銅 (お手持ちの分銅) を利用し、内蔵分銅値を定期的に確認されることをお勧めします。

6-2. 内蔵分銅によるキャリブレーション・テスト (FZ-CTシリーズのみ)

内蔵分銅を使って計量の正確さを確認します。GLP/GMP等に対応した保守記録の出力を設定している時 (*dout info 1, 2* または *3*) に選択可能です。(結果が出力されますが、感度調整は行いません。)

1. 計量皿に何も載せずに1時間以上通電してください。
2. 「8. 内部設定」を参照して *dout info 1, 2* または *3* に設定してください。

3. **[CAL in]** が表示されるまで **[CAL]** キーを長押しします。



4. ゼロ点を確認しています。振動などを加えないでください。
5. 確認したゼロ点を表示します。
6. フルスケールを確認しています。振動などを加えないでください。
7. 確認したフルスケールを表示します。フルスケールの基準値は以下の通りです。フルスケールの表示が誤差範囲であれば内蔵分銅により正しく感度調整された状態であることを示します。

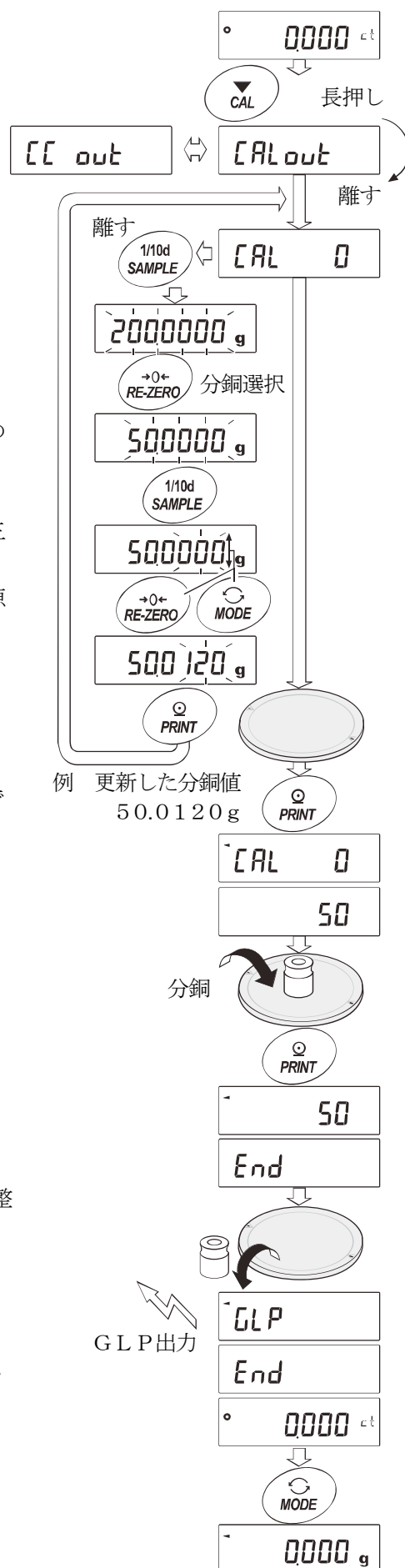
機種	フルスケールの基準値	誤差範囲
FZ-1200CT	200.000 g	±0.002 g
FZ-700CT	100.000 g	
FZ-500CT		

8. GLP/GMP等に対応した保守記録の出力を設定している場合、「校正実行記録」を出力します。
9. 自動的に計量表示に戻ります。

6-3. お手持ちの分銅によるキャリブレーション

お手持ちの分銅を使ってキャリブレーション（感度調整）します。

- 計量皿に何も載せずに1時間以上通電してください。
- CAL** キーを長押しします。 **CALout** が表示されたら、キーから指を離します。
- 分銅（13ページの使用可能分銅）を設定する場合は、**SAMPLE** キーを押し手順4.へ進んでください。分銅を変更しない場合は、手順5.へ進んでください。
- 次のキーで分銅値を設定します。
SAMPLE キー 全桁点滅（分銅の選択）と下三桁点滅（器差の選択）を切り替えます。
RE-ZERO キー（+）、**MODE** キー（-）
 使用する分銅（全桁点滅時）または器差（下三桁点滅時）を変更します（13ページ参照）。
PRINT キー 変更した分銅を登録します。登録した値は電源を切っても記憶しています。
CAL キー 設定を中断します（**CAL 0** 表示に戻ります）。
- 計量皿に何も載せていないことを確認して **PRINT** キーを押してください。ゼロ点を計量します。振動などを加えないでください。
- 計量皿に分銅を載せ **PRINT** キーを押してください。分銅を計量します。振動などを加えないでください。
- 計量皿から分銅を取り除きます。
- キャリブレーション後、GLP出力を設定している場合、「感度調整実行記録」を出力します。
- 自動的に計量表示に戻ります。
- MODE** キーを押して“g”モードを選択し、分銅を再度載せて、分銅の $\pm 0.002\text{ g}$ であることを確認します。入らない場合は、周囲環境に注意して、手順1. からもう一度やり直してください。

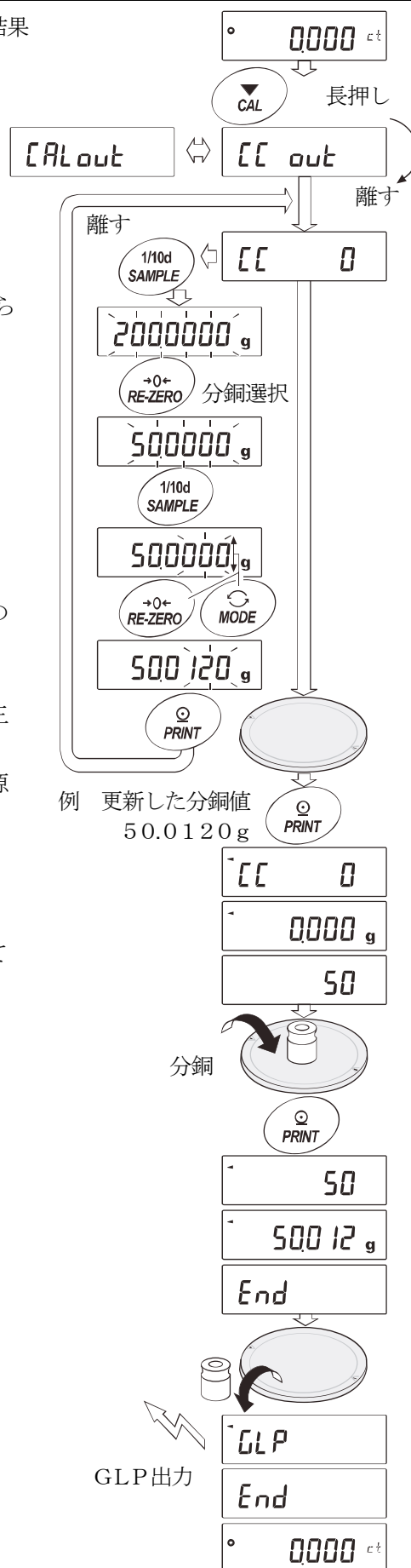


6-4. お手持ちの分銅によるキャリブレーション・テスト

お手持ちの分銅を使って計量の正確さを確認するとともに、その結果を出力します。

GLP/GMP等に対応した保守記録の出力を設定しているとき (dout info 1, 2 または 3) にのみ有効な機能です。
(感度調整は行いません。)

1. 計量皿に何も載せずに1時間以上通電してください。
2. **CAL** キーを長押しします。 **CC out** が表示されたらキーから指を離します。
3. 分銅 (13ページの使用可能分銅) を設定する場合、**SAMPLE** キーを押し手順4.へ進んでください。分銅を変更しない場合、手順5.へ進んでください。
4. 次のキーで校正分銅値を設定します。
SAMPLE キー 全桁点滅 (分銅の選択) と下三桁点滅 (器差の選択) を切り替えます。
RE-ZERO キー (+)、**MODE** キー (-)
 使用する分銅 (全桁点滅時) または器差 (下三桁点滅時) を変更します (13ページ参照)。
PRINT キー 変更した分銅を登録します。登録した値は電源を切っても記憶しています。
CAL キー 設定を中断します。
 (**CC 0** 表示に戻ります)
5. 計量皿に何も載せていないことを確認して **PRINT** キーを押してください。ゼロ点を計量します。振動などを加えないでください。
6. ゼロ点の計量値を数秒間表示します。計量皿に分銅を載せて、**PRINT** キーを押してください。分銅を計量します。振動などを加えないでください。
7. 分銅の計量値を数秒間表示します。計量皿から分銅を取り除きます。
8. 「校正状態」を出力します。
9. 自動的に計量表示に戻ります。



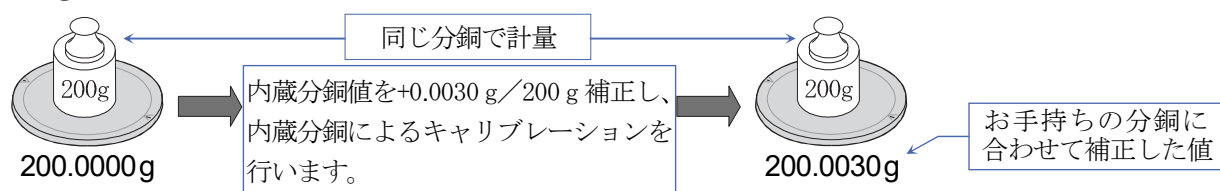
6-5. 内蔵分銅値の補正 1 (FZ-CTシリーズのみ)

- お手持ちの分銅を基準に内蔵分銅値を補正する方法です。
内蔵分銅にて感度調整後、お手持ちの分銅を載せて補正量を求め、補正量を天びんに数値入力します。
- 補正の基準値及び補正範囲は下表の通りです。

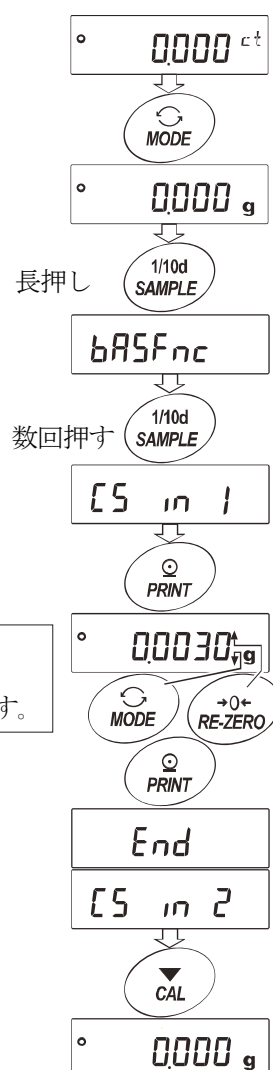
機種	補正基準値	補正範囲
FZ-1200CT	200 g	-0.0150 g ~ +0.0150 g
FZ-700CT	100 g	
FZ-500CT		

設定方法

- 例ではFZ-1200CTでお手持ちの200.0000 gの分銅を用いて、+0.0030 g/200 gの補正を行います。
お手持ちの分銅が100 gで+0.0030 gの補正を行う場合は、補正基準値200 gに合わせて補正量は+0.0060 gとなります。



- ワンタッチ・キャリブレーションを行った後、お手持ちの分銅を載せて補正値を確認します。
- 内蔵分銅値の補正は、出荷時設定では実行できないようになっています。「7. 機能選択と初期化」を参照して、内部設定の変更と内蔵分銅値の補正を可能な状態にしてください。
- MODE** キーを押して“g”モードを選択します。
- 計量モードにて **SAMPLE** キーを長押しして **bASFnC** を表示させます。
- [5 in 1]** が表示するまで **SAMPLE** キーを数回押します。
[5 in 1] が表示しない場合、手順2を行います。
- PRINT** キーを押し、次のキーで選択してください。
RE-ZERO キー 補正値を変更 (+1) します。
MODE キー 補正値を変更 (-1) します。
PRINT キー 登録し、次の項目を表示します。
CAL キー キャンセルし、次の項目を表示します。
- CAL** キーを押してください。計量表示に戻ります。
- CAL** キーを押し、内蔵分銅によるキャリブレーションを行います。
- お手持ちの分銅を載せて、正しく補正されたことを確認してください。
正しく補正されない場合、再度補正値を調整してください。



6-6. 内蔵分銅値の補正2 (FZ-CTシリーズのみ)

- お手持ちの分銅を基準に内蔵分銅値を補正する方法です。
お手持ちの分銅にて感度調整後、天びんが自動で内蔵分銅の載せ降ろしを行い、内蔵分銅値を補正します。
- 使用可能な分銅は下表の通りです。補正した値はACアダプタを抜いても記憶しています。

機種	使用可能分銅 (お手持ちの分銅)	入力可能な器差範囲
FZ-1200CT	250 g 200 g* 100 g 50 g 20g	-0.0150 g ~ +0.0150 g
FZ-700CT	150 g 100 g* 50 g 20g	
FZ-500CT	100 g* 50 g 20g	

* は出荷時設定

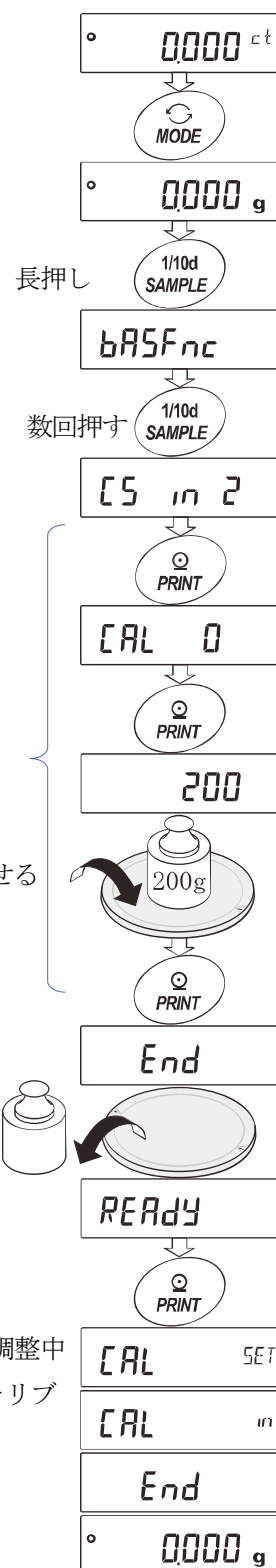
設定方法

1. 内蔵分銅値の補正は、出荷時設定では実行できないようになっています。「7. 機能選択と初期化」を参照して、内部設定の変更と内蔵分銅値の補正を可能な状態にしてください。
2. **[MODE]** キーを押して“g”モードを選択します。
3. 計量モードにて **[SAMPLE]** キーを長押しして **bASFnC** を表示させます。
4. **[5 in 2]** が表示されるまで **[SAMPLE]** キーを数回押します。
[5 in 2] が表示されない場合、手順1を行います。
5. **[PRINT]** キーを押すと、**[CAL 0]** を表示します。
「6-3. お手持ちの分銅によるキャリブレーション」を参照してキャリブレーションを行います。
6. キャリブレーションが終了し、分銅を降ろすと **[READY]** が表示されます。準備が完了したら **[PRINT]** キーを押します。
7. **[CAL SET]** 表示となり、自動的に内蔵分銅値の補正を行います。
8. 内蔵分銅値の調整が終了すると **[CAL in]** が表示され、調整後の内蔵分銅で自動的にキャリブレーションを行います。
9. **[End]** が表示され、計量モードに戻ります。
10. 補正に使用した分銅を載せて正しく補正されたことを確認してください。正しく補正されない場合、再度手順2からの作業を行ってください。(内蔵分銅値の調整中には外乱に気をつけてください。)

お手持ちの分銅による
キャリブレーション中
分銅を載せる

分銅を降ろす

内蔵分銅値の調整中
内蔵分銅でキャリブ
レーション中



7. 機能選択と初期化

7-1. 機能選択

天びんは不用意に変更されては困るデータを記憶しています。それらのデータを保護する目的で「機能選択スイッチ」が設けられ「変更禁止」または「変更可能」を選択できます。「変更禁止」にすると、その機能に入ることができないので、不用意な変更を妨げられます。

機能選択の変更は、パスワード機能により制限がかけられます。ソフトウェアバージョン 1.860 以降の場合、機能選択とパスワード機能を合わせて利用することでキャリブレーション（感度調整）機能に制限がかけられます。

「機能選択のスイッチ」（種類）は、下表の通りです。

	FZ-CTシリーズ	FX-CTシリーズ
機能選択のスイッチ	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 内部設定<input type="checkbox"/> 内蔵分銅によるキャリブレーション（ワンタッチ・キャリブレーション）<input type="checkbox"/> お手持ちの分銅によるキャリブレーション<input type="checkbox"/> 内蔵分銅の値の調整	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 内部設定<input type="checkbox"/> キャリブレーション

設定方法

1. 表示をオフします。
2. **PRINT** と **SAMPLE** キーを押しながら **ON:OFF** キーを押すと **P5** を表示します。
3. **PRINT** キーを押し、次のキーで機能を選択してください。
 - SAMPLE** キー 点滅中の桁（スイッチ）を選択します。
 - RE-ZERO** キー 点滅中のスイッチの状態を選択します。
 - 変更禁止／使用不可
 - 変更可能／使用可能
 - PRINT** キー 登録し、計量表示に戻ります。
 - CAL** キー 操作をキャンセルし、**Clr** を表示します。もう一度押すと計量表示に戻ります。

(FZ-CTシリーズ出荷時の表示)



内部設定

- 0 内部設定を禁止します。
- ! 内部設定を変更可能にします。

内蔵分銅によるキャリブレーション (ワンタッチ・キャリブレーション)

- 0 ソフトウェアバージョン143~185 内蔵分銅によるキャリブレーションを禁止します。
ソフトウェアバージョン1860以降 **PASS 0** 内蔵分銅によるキャリブレーションを禁止します。
- PASS 1,2** ^{注1} 使用者 (USER)、ゲスト (GUEST) でログイン時に内蔵分銅によるキャリブレーションを禁止します。
- ! 内蔵分銅によるキャリブレーションを使用可能にします。

お手持ちの分銅によるキャリブレーション

- 0 ソフトウェアバージョン143~185 お手持ちの分銅によるキャリブレーションを禁止します。
ソフトウェアバージョン1860以降 **PASS 0** お手持ちの分銅によるキャリブレーションを禁止します。
- PASS 1,2** ^{注1} 使用者 (USER)、ゲスト (GUEST) でログイン時にお手持ちの分銅によるキャリブレーションを禁止します。
- ! お手持ちの分銅によるキャリブレーションを使用可能にします。

機能なし

内蔵分銅の値の調整

- 0 内蔵分銅の値の調整を禁止します。
- ! 内蔵分銅の値の調整を変更可能にします。

注1 管理者 (AdM^{IN}) でログイン時には使用可能。

(FX-CTシリーズ出荷時の表示)



内部設定

- 0 内部設定を禁止します。
- ! 内部設定を変更可能にします。

機能なし

キャリブレーション

- 0 お手持ちの分銅によるキャリブレーションを禁止します。
- ! お手持ちの分銅によるキャリブレーションを使用可能にします。

機能なし

機能なし

7-2. 初期化

天びんの各設定値を工場出荷時の値に戻す機能です。初期化される内容は次の通りです。

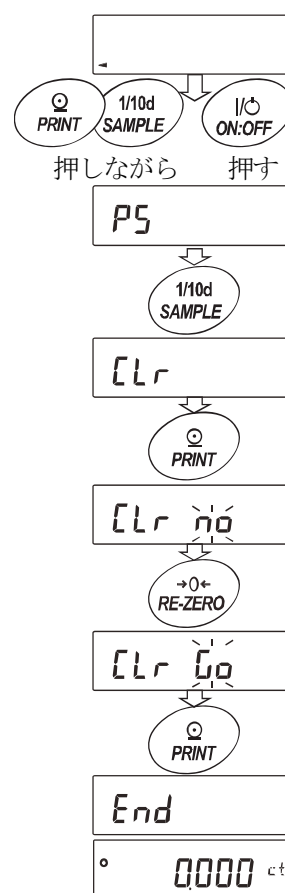
- キャリブレーションデータ
- 内部設定
- 単位質量（個数モード）、100%質量値（パーセント計量モード）
- お手持ちの分銅値
- 機能選択の状態
- 統計演算データ
- 内蔵分銅値（FZ-CTシリーズのみ）

注意

初期化後、必ず感度調整を実行してください。

設定方法

1. 表示をオフにします。
2. **PRINT** と **SAMPLE** キーを押しながら **ON:OFF** キーを押すと **P5** を表示します。
3. **SAMPLE** キーを押して **[Clr]** の表示にします。
4. **PRINT** キーを押して **[Clr no]** を表示します。
(キャンセルする場合は **CAL** キーを押します。)
5. **RE-ZERO** キーを押して **[Clr Go]** を表示します。
6. **PRINT** キーを押すと初期化を実行します。
実行後、計量表示になります。



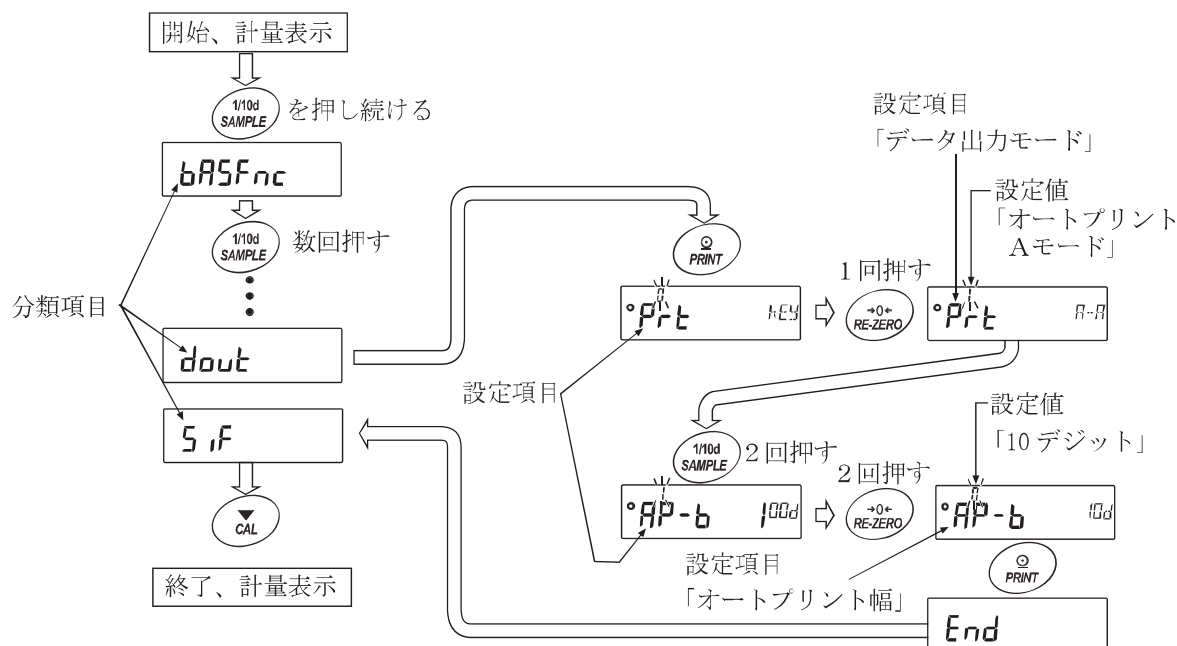
8. 内部設定

内部設定では、天びんの動作機能、通信などの設定および変更ができます。設定値は、ACアダプタを抜いても記憶されています。

内部設定のメニュー構造は、下図の例のように分類項目と設定項目の2層からなり、各設定項目には一つの設定値が登録されています。各設定項目で有効になる設定値は、最後に表示した設定値です。更新した設定値が天びんの動作に反映されるのは、**PRINT** キーを押した後です。

設定例とメニュー構造

「データ出力モード (Prt)」を「オートプリントモードA (Prt A)」に設定し、「オートプリント幅 (AP-b)」を「10デジット (AP-b 10)」に設定する例。



注意

- 設定と使用条件（使用環境）によっては正しく動作しない場合がありますので、変更内容を確認してから変更してください。

8-1. 内部設定の表示と操作キー

○	「○」マークは現在有効になっている設定値に表示されます。
1/10d SAMPLE	計量表示で長押し（約2秒間）すると内部設定メニューに入ります。（分類項目を表示）分類項目または、設定項目を選択します。
+0← RE-ZERO	設定値を変更します。
○ PRINT	分類項目から設定項目に入ります。 設定値を登録し、次の分類項目に進みます。
▼ CAL	設定項目を表示中は、設定をキャンセルし次の分類項目に進みます。 分類項目を表示中は、内部設定を終了し、計量表示になります。

8-2. 項目一覧

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途			
bASFnC (Basic Function) 環境・表示	[Cond (Condition) 応答特性	0	応答が速い、振動に弱い	FAST	ホールドオン機能(Hold I)のとき、平均化時間の設定と兼用。	
		1	⇕	MID.		
		2		応答が遅い、安定した表示		SLOW
	St-b (Stability Band Width) 安定検出幅	0	厳密に判定 (±1 デジット)	⇕		一定時間内の計量表示の変動幅が基準値未滿なら安定マークを表示。ホールドオン機能(Hold I)のとき、平均化幅の設定と兼用。
		1	緩やかな判定 (±3 デジット)			
		2				
	Hold (Hold) ホールド機能	0	オフ	安定時に表示をホールドする機能。オン時 HOLD 点灯。		
		1	オン			
	Trc (Tracking) ゼロトラック	0	オフ	ゼロ点を追尾して表示をゼロに保つ機能。		
		1	通常			
		2	少し強い			
		3	強い			
	SPd (Speed) 表示書換周期	0	約5回/秒	表示の更新周期。		
		1	約10回/秒			
Pnt (Point) 小数点	0	. (ポイント)	小数点の形状。			
	1	, (カンマ)				
P-on (Power On) オートパワーオン	0	オフ	ACアダプタを接続すると計量モードからスタートする。			
	1	オン				
P-off (Power Off) オートパワーオフ	0	オフ	10分間操作しないと、自動的に表示オフする。			
	1	オン (10分)				
rng (Range) 計量スタート時の最小表示	0	表示する				
	1	表示しない				
bEEP (Beep) ビープ	0	鳴らさない	キー操作時のビープ音			
	1	鳴らす				
[L Adj* (Clock Adjustment) 時計			「8-13. 日付・時刻の確認と設定方法 (FZ-CTシリーズのみ)」を参照。	日付・時刻の確認・調整をする。日付・時刻はGLP出力時に使用されます。		
[P Fnc (Comparator Function) コンパレータ	[P (Comparator) コンパレータ モード	0	比較しない			
		1	安定時・オーバー時に比較する (ゼロ付近を除く)			
		2	安定時・オーバー時に比較する (ゼロ付近を含む)			
		3	常に比較する (ゼロ付近を除く)			
	4	常に比較する (ゼロ付近を含む)				
	bEP_ (Beep LO) LOブザー	0	オフ			
1		オン				

*はFZ-CTシリーズのみ。

■は出荷時設定です。「デジット」は、最小表示の単位。

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途	
[P Fnc (Comparator Function) コンパレータ	bEP- (Beep OK) OKブザー	0	オフ	
		1	オン	
	bEP+ (Beep HI) HIブザー	0	オフ	
		1	オン	
[P HI (Comparator HI) 上限値の設定		「8-12. コンパレータの解説」を参照。		
[P LO (Comparator LO) 下限値の設定				
dout (Data Out) データ出力	Print (Print) データ出力モード	0	キーモード	安定表示のとき PRINT キーでデータ出力する。
		1	オートプリント Aモード (基準=ゼロ点)	ゼロ点からAP-PとAP-bの範囲を越え安定表示したときデータ出力する。
		2	オートプリント Bモード (基準=前回の安定値)	基準よりAP-PとAP-bの範囲を越え安定表示したときデータ出力する。
		3	ストリームモード	表示書換毎にデータ出力する。 例：外部表示器等への接続に利用
		4	キーモード B (即時)	PRINT キーで、安定・非安定に関わらずデータ出力する。
		5	キーモード C (安定時)	PRINT キーで、安定であれば即時、非安定であれば安定後データ出力する。
		6	インターバル出力モード	インターバル出力モードを使用する。
	AP-P (Auto Print Polarity) オートプリント極性	0	プラスのみ	表示が基準より大きい。
		1	マイナスのみ	表示が基準より小さい。
		2	両極性	基準との大小に関係なく。
	AP-b (Auto Print Band Width) オートプリント幅	0	10デジット	基準と表示との差分を指定。
		1	100デジット	
		2	1000デジット	
	Int (Interval Time) インターバル時間	0	表示書換え毎	インターバル出力モード (Print 6) を使用するときのインターバル時間を設定する。
		1	2秒毎	
		2	5秒毎	
		3	10秒毎	
		4	30秒毎	
		5	1分毎	
		6	2分毎	
8		10分毎		
S-t d* (Send Time Date) 時刻・日付付加	0	日付・時刻を出力しません。(出荷時設定)		
	1	時刻を出力します。		
	2	日付を出力します。		
	3	日付・時刻を出力します。		
S-id (Send ID) IDナンバ付加	0	行わない	データ出力時、IDナンバの出力の選択。	
	1	行う		

*はFZ-CTシリーズのみ。

■は出荷時設定です。「デジット」は、最小表示の単位。

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途	
dout (Data Out) データ出力	PULSE (Pause) データ出力間隔	0	空けない	出力の間隔を選択します。
		1	1.6秒空ける	
	A-E-F (Auto Feed) オートフィード	0	行わない	データ出力後の自動紙送りの選択。
		1	行う	
	info (Information) GLP出力	0	出力しない	「9.3. GLP出力」を参照。
		1	AD-8121 フォーマット	
		2	汎用 (天びんの時計データ)	
	Ar-d (Auto Re-zero After Data Output) データ出力後のオートゼロ	0	行わない	データ出力後、自動でリゼロをかける機能。
		1	行う	
	SIF (Serial Interface) シリアルインタ フェース	bps (Bits Per Second) ボーレート	0	600 bps
1			1200 bps	
2			2400 bps	
3			4800 bps	
4			9600 bps	
5			19200 bps	
bitPr (Bit Parity) ビット長、パリティ		0	7ビットEVEN	
		1	7ビットODD	
		2	8ビットNONE	
CrLF (Carriage Return, Line Feed) ターミネータ		0	CR LF	CR : ASCII コード 0Dh LF : ASCII コード 0Ah
		1	CR	
type (Type) データフォーマット		0	A&D標準フォーマット	「8-5. データフォーマットの解説」を参照。
		1	DPフォーマット	
		2	KFフォーマット	
		3	MTフォーマット	
		4	NUフォーマット	
t-UP (Time Up) コマンドタイムアウト		0	制限なし	コマンド受信中の待ち時間を選択。
	1	1秒間の制限あり		
ErrCd (Error Code) AK、エラーコード	0	出力しない	AK : ASCII コード 06h	
	1	出力する		
Unit (Unit) 単位 (モード) 登録	g	グラム	「8-7. 単位 (モード) 登録の解説」を参照。	
	PCS	個数		
	%	パーセント		
	ct	カラット		
	mm	もんめ		
id (ID) IDナンバの設定			「9. GLPとIDナンバ」を参照。	

*はFZ-CTシリーズのみ。

■は出荷時設定です。「デジット」は、最小表示の単位。

分類項目	設定項目	設定値	内容・用途
AP Fnc (Application Function) アプリケーション機能	APPF (Application Function) アプリケーション機能	0	通常計量モード
		1	ひょう量インジケータ
		2	統計演算機能
	STATF (Statistical Function) 統計表示出力選択	0	データ数、合計
		1	データ数、合計、最大、最小、範囲 (最大—最小)、平均
		2	データ数、合計、最大、最小、範囲 (最大—最小)、平均、標準偏差、変動係数
Loc Fnc (Lock Function) パスワード機能	PASS 注1 (Password) パスワード機能	0	無効
		1	有効 (計量作業を制限)
		2	有効 (基本計量は可能)
Loc no (Lock No.) パスワード登録	Adm 注 USER 注1 ~ USER 注2	管理者パスワード入力	「11. パスワード機能」を参照。
		ユーザ 1 パスワード入力	
		ユーザ 10 パスワード入力 注2	
[5 in 1]* (Calibration Set Internal 1) 内蔵分銅値の補正 1	[5 in 2]* (Calibration Set Internal 2) 内蔵分銅値の補正 2	「6. キャリブレーション (天びんの感度調整 / 校正)」を参照。	「機能選択」と関連します。通常は表示しません。

*はFZ-CTシリーズのみ。 ■は出荷時設定です。「デジット」は、最小表示の単位。

注1 天びんのソフトウェアバージョンが1.70~1.85の場合は無効(0) / 有効(1)のみ選択可能、ソフトウェアバージョンが1.860以降の場合は無効(0) / 有効(1) / 有効(2)の選択が可能です。

注2 天びんのソフトウェアバージョン1.860以降で設定可能です。ソフトウェアバージョンが1.70~1.85の場合は、1つのパスワード(管理者パスワード相当)が登録可能です。

注意

□ ポーレートによっては、表示書換ごとのデータを全て出力できない場合があります。

8-3. 環境・表示の解説

応答特性 (Cond) の特性と用途

- ↑
- Cond 0 荷重の変動に対し鋭敏に表示が反応します。
粉末や液体の計り込み、きわめて軽い試料の計量や、計量値の安定度よりも作業能率を優先する場合、設定値を小さくします。設定後 **FAST** と表示されます。
- ↓
- Cond 2 荷重の変動に対してゆっくりと表示が変化します。
使用環境等により計量値が安定しにくい場合、設定値を大きくします。設定後 **SLOW** と表示されます。
- ※ ホールド機能をオンにしている場合は、平均化時間の設定を兼ねます。

安定検出幅 (St-b) の特性と用途

計量値が安定したと判定するための設定です。一定時間内の計量値の変動幅が設定値以下になると安定マークを表示し計量値の出力を行います。この設定はオートプリントに影響します。

- ↑
- St-b 0 計量値が十分安定しないと安定マークを表示せず、少しの計量値の変動でも安定マークが消えます。
厳密に計量する場合、設定値を小さくします。
- ↓
- St-b 2 荷重の微小微動に対して反応しにくくなります。
使用環境等により計量値が安定しにくい場合、設定値を大きくします。
- ※ ホールド機能をオンにしている場合は、平均化幅の設定を兼ねます。

ホールド機能 (Hold) の特性と用途 (動物計量)

不安定なサンプル (動物など) を計量するための機能です。計量値がゼロから一定の範囲 (ホールド範囲) で、変動が「平均化幅」以内で一定時間 (「平均化時間」) 経過したとき処理中マークを点灯させ、そのときの平均値を計量結果として固定表示します。計量したサンプルを降ろすと、自動的に表示がゼロになります。設定をオン「1」にして単位が個数モード以外の人に機能します。(**HOLD** 点灯) 平均化時間と平均化幅は内部設定「応答特性 (Cond)」と「安定検出幅 (St-b)」で設定します。

ホールド範囲	平均化時間		平均化幅	
0.200g 以上	Cond 0	2秒 (能率優先)	St-b 0	平均化幅 小 6.25%
	Cond 1	4秒	St-b 1	12.5%
	Cond 2	8秒 (正確さ優先)	St-b 2	平均化幅 大 16.7%

ゼロトラック (trc) の特性と用途

表示がゼロのとき、使用環境の影響等によりゼロ点が微小変動する場合、自動的にゼロ点を追尾してゼロ表示を維持する機能です。計量値が数デジットのの場合、ゼロトラックをオフにしたほうが正確に計量できます。「デジット」は、最小表示の単位。

- ↑
- trc 0 ゼロトラックを使用しない。「例 計量値が 0020 g の場合、trc 0 に設定する」
- ↓
- trc 1 ゼロトラックを使用する。ゼロ点の追尾は通常
- 2 " ゼロ点の追尾は少し強い
- 3 " ゼロ点の追尾は強い

表示書換周期 (SPd) の解説

表示の更新速度 (書換周期) の設定です。この設定は「ボーレート」、「データ出力間隔」等とともにストリームモードの動作状態に影響します。

※ この設定は、計量スピードの変更により自動で選択されます。

小数点 (Pnt) の解説

表示および出力の小数点の形状を選択します。

オートパワーオン (P-on) の解説

ACアダプタから電源を投入したとき、**ON:OFF** キーを押さなくても自動的に計量表示になる設定です。天びんを自動機器に組み込んでいる場合などに使用します。ただし、正しく計量するには電源投入後1時間以上の通電が必要です。

オートパワーオフ (P-off) の解説

計量値が0.5g以下で一定時間 (約10分間)、キー操作、コマンド受信が無い場合には自動的に表示のみをオフにする機能です。(計量状態と表示オフでは消費電力は変わりません。)

8-4. データ出力の解説

内部設定「データ出力モード (Prt)」は、RS-232Cへデータを出力するときの動作に適用されます。

キーモード

安定マークを表示しているとき、**PRINT** キーを押すと計量値を1回出力します。

このとき表示を1回点滅させ出力したことを知らせます。

必要な設定 *dout* *Prt 0* キーモード

オートプリント Aモード

計量値が基準の「ゼロ表示」より「オートプリント極性」と「オートプリント幅」で指定した範囲を越え、かつ安定マークを表示したとき、計量値を1回出力します。また、安定マークを表示しているとき、**PRINT** キーを押すと計量値を1回出力します。このとき表示を1回点滅させ、出力したことを知らせます。

使用例 「データ出力後のオートリゼロ *Ar-d 1* に設定し、試料を追加するたびに計量値を出力する。(試料を取り去るたびに計量値を出力する。)」

必要な設定 *dout* *Prt 1* Aモード
dout *AP-P* オートプリント極性
dout *AP-b* オートプリント幅
dout *Ar-d 1* オートリゼロ

オートプリント Bモード

計量値が基準の「直前の安定マークを表示した値」より「オートプリント極性」と「オートプリント幅」で指定した範囲を越え、かつ安定マークを表示したとき、計量値を1回出力します。

また、安定マークを表示しているとき、**PRINT** キーを押すと計量値を1回出力します。このとき表示を1回点滅させ、出力したことを知らせます。

使用例 「計量物を追加しながら計量値を出力する。」

必要な設定 *dout* *Prt 2* Bモード
dout *AP-P* オートプリント極性
dout *AP-b* オートプリント幅

ストリームモード

安定マークの状態に関わらず、定期的に計量値を出力します。このとき、表示は点滅しません。

使用例	「外部表示器AD-8920Aにて計量値を常時表示する。」		
必要な設定	<i>dout</i>	<i>Prt 3</i>	ストリームモード
	<i>bRSFnc</i>	<i>SPd</i>	表示書換周期
	<i>Sif</i>	<i>bPS</i>	ボーレート

注意

- ボーレートと表示書換周期によっては、データを全て出力できない場合があります。ボーレートを速くしてください。

キーモード B

PRINT キーを押すと、安定マークの状態に関わらず、即時、計量値を出力します。
このとき、表示は点滅しません。

必要な設定	<i>dout</i>	<i>Prt 4</i>	キーモードB
-------	-------------	--------------	--------

キーモード C

PRINT キーを押すと、安定マークが表示していれば、即時、計量値を出力します。
安定マークが表示していなければ、安定マークが表示されたときに、計量値を出力します。
このとき表示を1回点滅させ出力したことを知らせます。

必要な設定	<i>dout</i>	<i>Prt 5</i>	キーモードC
-------	-------------	--------------	--------

インターバル出力モード

安定マークの有無にかかわらず定期的に計量データを出力します。このとき表示を1回点滅させ、出力（または記憶）したことを知らせます。

PRINT キーを押すと出力を開始し、インターバル時間毎に出力します。再び **PRINT** キーを押すと出力を停止します。

使用例 「定期的に計量値を出力する。」

必要な設定	<i>dout</i>	<i>Prt 6</i>	インターバル出力モード
	<i>dout</i>	<i>int</i>	インターバル時間

注意

- ボーレートとインターバル時間によっては、データを全て出力できない場合があります。ボーレートを速くしてください。

8-5. データフォーマットの解説

内部設定「シリアルインタフェース(SIF)」の「データフォーマット(TYPE)」による計量データの出力フォーマットと計量データに付加されるデータフォーマットの解説です。

A & D標準フォーマット SIF TYPE 0

周辺機器と接続する標準フォーマットです。

マルチプリンタ AD-8127 は外部キー印字モード、マニュアル印字モード、オート印字モード、インターバル印字モードを使用します。

AD-8121B は MODE1、MODE2 を使用します。

- 1データは15文字(ターミネータを含まず)固定です。
- 最初に2文字のヘッダがあり、データの種別・状態を示します。
- データは符号付きで、上位の不要なゼロも出力します。
- データがゼロのとき、極性はプラスです。
- 単位は3文字で表します。

- 出力例:

S	T	,	+	0	0	0	1	.	2	7	8		c	t	C	R	L	F
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---

ヘッダ
データ
単位
ターミネータ

S	T	安定時のヘッダ	Q	T	個数計モード安定時のヘッダ
U	S	不安定時のヘッダ			
O	L	過荷重時のヘッダ			

- 印字例:

W	T							+	1	.	2	7	8		c	t	C	R	L	F
---	---	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---

ヘッダ
データ
単位
ターミネータ

W	T	安定時のヘッダ	Q	T	個数計モード安定時のヘッダ
U	S	不安定時のヘッダ			

DPフォーマット SIF TYPE 1

受信したデータをそのまま印字するプリンタに適したフォーマットです。

ミニプリンタ AD-8126 はこのフォーマットを使用します。

マルチプリンタ AD-8127 はダンプ印字モードを使用します。

AD-8121B は MODE3 を使用します。

- 1データは16文字(ターミネータを含まず)固定です。
- 計量オーバ以外は最初に2文字のヘッダがあり、データの種別・状態を示します。
- 計量オーバでもゼロでもない計量値には、数値の前に極性が付きます。
- データの上位の不要なゼロはスペースとなります。
- 単位は3文字で表します。

- 出力例:

W	T							+	1	.	2	7	8		c	t	C	R	L	F
---	---	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---

ヘッダ
データ
単位
ターミネータ

W	T	安定時のヘッダ	Q	T	個数計モード安定時のヘッダ
U	S	不安定時のヘッダ			

8-6. データフォーマットの出力例

安定時

° 0.127 ct

A&D	S	T	,	+	0	0	0	0	.	1	2	7	␣	c	t	C _R	L _F	
DP	W	T	␣	␣	␣	␣	␣	+	0	.	1	2	7	␣	c	t	C _R	L _F
KF	+	␣	␣	␣	␣	0	.	1	2	7	␣	c	t	␣	C _R	L _F		
MT	S	␣	␣	␣	␣	␣	0	.	1	2	7	c	t	C _R	L _F			
NU	+	0	0	0	0	.	1	2	7	C _R	L _F							

不安定時

- 18.369 ct

A&D	U	S	,	-	0	0	1	8	.	3	6	9	␣	c	t	C _R	L _F	
DP	U	S	␣	␣	␣	␣	-	1	8	.	3	6	9	␣	c	t	C _R	L _F
KF	-	␣	␣	␣	1	8	.	3	6	9	␣	␣	␣	␣	C _R	L _F		
MT	S	D	␣	␣	␣	-	1	8	.	3	6	9	c	t	C _R	L _F		
NU	-	0	0	1	8	.	3	6	9	C _R	L _F							

オーバ時

(プラスオーバ)

E ct

A&D	O	L	,	+	9	9	9	9	9	9	9	E	+	1	9	C _R	L _F
DP	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	E	␣	␣	␣	␣	␣	C _R	L _F
KF	␣	␣	␣	␣	␣	␣	H	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	C _R	L _F	
MT	S	I	+	C _R	L _F												
NU	+	9	9	9	9	9	9	9	9	C _R	L _F						

オーバ時

(マイナスオーバ)

-E ct

A&D	O	L	,	-	9	9	9	9	9	9	E	+	1	9	C _R	L _F	
DP	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	-	E	␣	␣	␣	␣	␣	␣	C _R	L _F
KF	␣	␣	␣	␣	␣	␣	L	␣	␣	␣	␣	␣	␣	␣	C _R	L _F	
MT	S	I	-	C _R	L _F												
NU	-	9	9	9	9	9	9	9	9	C _R	L _F						

単位コード

		A&D	DP	KF	MT
グラム	g	␣ ␣ g	␣ ␣ g	␣ g ␣ ␣	␣ g
個数	PCS	␣ P C	␣ P C	␣ p c s	␣ P C S
パーセント	%	␣ ␣ %	␣ ␣ %	␣ % ␣ ␣	␣ %
カラット	ct	␣ c t	␣ c t	␣ c t ␣	␣ c t
もんめ	mom	m o m	m o m	␣ m o m	␣ m o

␣ スペース、20h。

C_R キャリッジリターン、0Dh。

L_F ラインフィード、0Ah。

8-7. 単位（モード）登録の解説

内部設定「単位登録 (Unit)」は、以下の手順で変更することができます。単位の順番を変更するときや必要のない単位を表示させない場合に使用します。

単位（モード）は、計量表示のとき **MODE** キーで選択できます。

設定手順

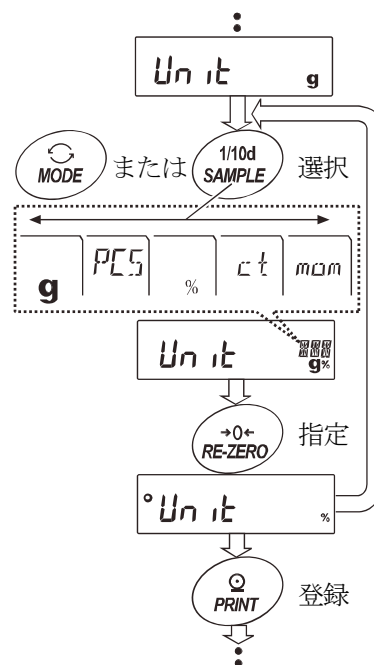
1. **SAMPLE** キーを長押しして **bRSFnC** の表示にします。
2. **SAMPLE** キーを数回押して **Unit** の表示にします。
3. **PRINT** キーを押します。
4. 次のキーで必要な単位 (**g**、**PCS**、**%**、**ct** および **mom**) を表示させる順番に **RE-ZERO** キーで指定していきます。

MODE、**SAMPLE** キー………単位を選択します。

RE-ZERO キー………単位を指定し、**0** を表示します。

5. **PRINT** キーを押して登録します。 **End** を表示後、次項目の表示になります。
6. **CAL** キーを押すと、最初に指定した単位の計量表示になります。

- ※ 上記、手順4. で最初に指定した単位が、電源投入時の単位になります。
- ※ 「カラット」は、宝石類を計量するときの単位で、1カラット=0.2gです。
「もんめ」は、真珠を計量するときの単位で、1もんめ=3.75gです。



8-8. 個数計量

品物の個数を調べる計量方法です。基準となるサンプルの単位質量（1個の重さ）に対し、計量したものが何個に相当するかを計算して表示します。この場合、サンプルの単位質量のバラツキが小さいほど、正確に計数（品物の個数を計る）できます。また、ACAI機能を使用することで、計量しながらサンプルの単位質量のバラツキを補正し、さらに計数精度を向上させることができます。

- ※ サンプルの単位質量のバラツキが大きい場合は、正確に個数計量できない場合があります。
- ※ 個数計量の誤差が大きい場合の対策として、頻繁にACAIを行う、複数回に分けて測定する、などの方法を試してください。
- ※ 載せられたサンプルの重量が軽すぎる（計数誤差が大きくなる）と判断される場合は、サンプルの追加を指示してきますので、表示されたサンプル数になるように追加して再度 **PRINT** キーを押してください。正常に登録されれば計数表示になります。
- ※ **L0** 表示は、単位質量が軽すぎることを示しています。そのサンプルは単体では登録できません。例えば、最小表示は0.001gですので、そのサンプルが10個で0.005gであれば100個を10個として登録すれば、表示個数を10倍することで大まかな個数を知ることができます。
- ※ 個数計量を精度よく行う場合は、サンプルの単位質量（1個の重さ）は、少なくとも天びん最小表示の10倍以上の物を対象とすることをお勧めします。FZ-CT/FX-CTシリーズは最小表示は0.001gですので、お勧めするサンプルの単位質量は0.01g以上となります。
- ※ 登録した単位質量は、電源を切っても記憶しています。

個数モードへの切替

1. **MODE** キーを押して単位を **PCS** にします。（PCS = 個）

単位質量の登録

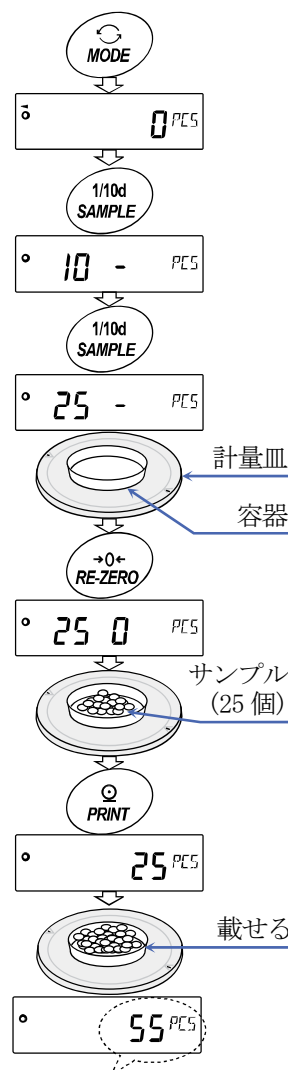
2. **SAMPLE** キーを押して、単位質量登録モードに入ります。
 - ※ 登録モードでも **MODE** キーを押すと次のモードに切り替わります。
3. さらに **SAMPLE** キーを押すと、登録時のサンプル数を変更できます。（10、25、50、100）
 - ※ サンプルの単位質量は、通常多少のバラツキがあると考えられますので、登録時のサンプル数が多いほうが正確に計数できます。
4. 必要に応じて容器等を載せ、**RE-ZERO** キーを押して **25 0** の表示にします。（25個の例）

5. 指定した数のサンプルを載せます。

6. **PRINT** キーを押すと、計量値から計算した単位質量を登録して計数表示になります。（25個のとき **25 PCS**）

個数モード（計数）

7. 計数が可能です。安定マーク点灯時に **PRINT** キーを押すと、計量値（個数）を外部に出力することができます。
 - ※ プリンタ、パソコン、別売の周辺機器等が必要になります。



(計量した個数を表示)

ACAI

ACAIはサンプル数を増やし、サンプル1個1個のバラツキを平均化することにより誤差を少なくし、計数精度を自動で向上させる機能です。手順6.の単位質量登録した後、以下の手順8.へ進んでください。

処理中マーク



8. サンプルを少し追加すると処理中マークが点灯します。(誤動作を防ぐために3個以上追加してください。また、載せ過ぎでは点灯しません。表示個数と同程度の個数を目安として追加してください。)
9. 処理中マークが点滅している間はサンプルを動かさないでください。
(精度を更新中です。)
10. 処理中マーク消灯後、精度は更新されます。この作業を繰り返すごとに、計数精度はさらに向上します。また、100個を越えてからのACAIの範囲は特に定めてありません。表示個数と同程度の個数を目安として追加してください。
11. ACAIで使用したサンプルを全て降ろし、計数作業に入ります。

8-9. %計量モード (パーセント計量モード)

基準となるサンプル重量を100%とした場合、これに対し計量したものが何%に相当するかを表示します。目標重量に「計り込む」場合や、試料のバラツキを調べるときに使います。

%計量モードへの切替

1. **MODE** キーを押して単位を **%** にします。
 ※ パーセント計量モードが表示されない場合は、「8-7. 単位 (モード) 登録の解説」を参照してパーセント計量モードを登録してください。

100%質量の登録 (パーセント計量の準備)

2. **SAMPLE** キーを押し、100%質量登録モードに入ります。
 ※ 複数の単位が登録されている場合は、登録モードでも **MODE** キーを押すと次のモードに切り替わります。

3. 必要に応じて容器等を載せ、**RE-ZERO** キーを押し **100.0 %** の表示にします。

4. 100%に相当するサンプルを載せます。

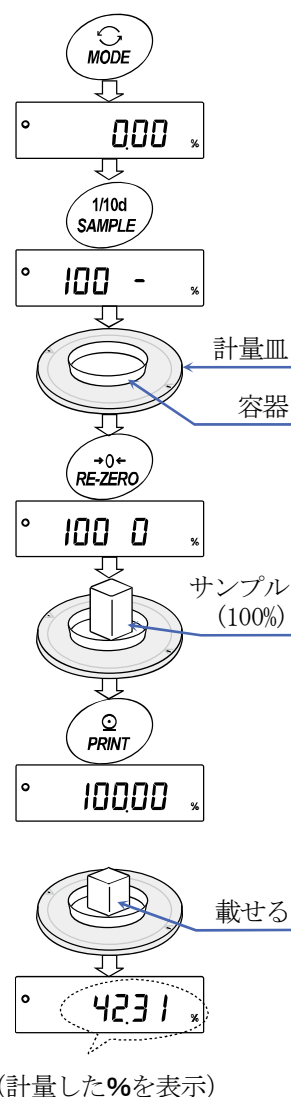
5. **PRINT** キーを押すと、100%質量を登録してパーセントの値を表示します。 **100.00 %**

※ 100%に相当するサンプルの重量が軽すぎて登録不可能の場合は **L0** を表示します。そのサンプルは使用できません。

※ 小数点の位置は100%質量により変化します。

100%質量	最小表示
0.0100 g ~ 0.0999 g	1 %
0.1000 g ~ 0.9999 g	0.1 %
1.0000 g ~	0.01 %

※ 登録した値は電源を切っても記憶しています。



% 計量

6. パーセント計量が可能です。
 安定マーク点灯時に **PRINT** キーを押すと、計量値を外部に出力することができます。
 ※ プリンタ、パソコン、別売の周辺機器等が必要になります。

8-10. アプリケーションの解説

ひょう量インジケータ (APP 1) の解説

ひょう量インジケータは、通常の計量では荷重とひょう量の関係をパーセントで表示します。
(ゼロ 0%、ひょう量 100%)。

統計演算機能 (APP 2) の解説

計量値を統計処理し、結果を表示・出力する機能です。
詳しくは、38ページの「8-11. 統計演算機能」を参照してください。

8-11. 統計演算機能

計量値を統計処理し、結果を表示・出力する機能です。この機能を使用する場合は、下記に従って内部設定に入り、「アプリケーション (APP Fnc)」の「アプリケーション機能 (APP)」を“2”に設定する必要があります。

表示・出力可能な演算項目は、データ数、合計、最大、最小、範囲 (最大-最小)、平均、標準偏差、変動係数、相対誤差です。これらの出力データは、内部設定「アプリケーション (APP Fnc)」の「統計表示出力選択 (STAT)」により4段階に選択できます。

- ※ 誤ったデータを入力してしまった場合でも、データ入力直後であれば、キー操作で取り消すことができます。
- ※ 統計結果は、電源を切ることにより初期化されます。(ON:OFF キーで表示オフにしてもデータは保持されます。)
- ※ 標準偏差、変動係数、相対誤差は、下記の式により算出されます。

$$\text{標準偏差} = \sqrt{\frac{N \cdot \sum (X_i)^2 - (\sum X_i)^2}{N \cdot (N-1)}} \quad \text{ただし、} X_i \text{ は } i \text{ 番目の計量値、} N \text{ はデータ数。}$$

$$\text{変動係数 (CV)} = \frac{\text{標準偏差}}{\text{平均}} \times 100 (\%)$$

$$\text{最大値の相対誤差 (MAX\%)} = \frac{\text{最大値} - \text{平均}}{\text{平均}} \times 100 (\%)$$

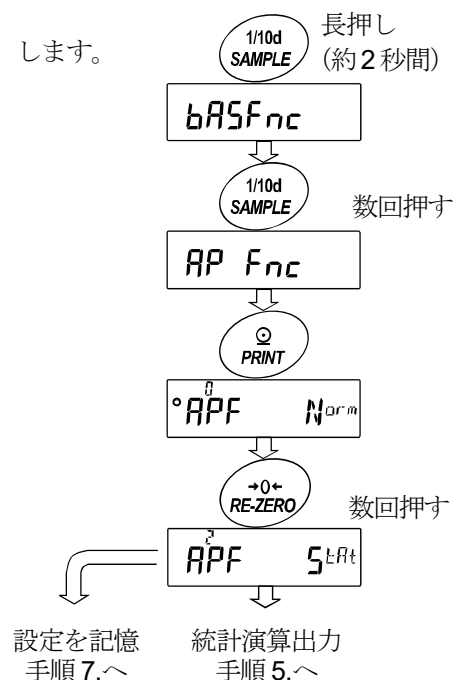
$$\text{最小値の相対誤差 (MIN\%)} = \frac{\text{最小値} - \text{平均}}{\text{平均}} \times 100 (\%)$$

- ※ 最小表示桁がオフのデータがある場合、計算結果は最小表示桁オフで表示されます。
(最小表示桁は四捨五入されます。)

(1) 準備

統計演算機能モードの切替（内部設定の変更）

1. **[SAMPLE]** キーを **bASFnC** が表示されるまで長押し（約2秒間）します。
2. **[SAMPLE]** キーを数回押して **APFnC** を表示させます。
3. **[PRINT]** キーを押して **°APF Norm** を表示させます。
4. **[RE-ZERO]** キーを数回押して **°APF Stat** を表示させます。
 統計演算で出力を選択する場合は、手順5.に進んでください。
 そのまま設定を記憶させる場合は、手順7.に進んでください。
 統計演算機能を解除する場合は、**[RE-ZERO]** キーを押して **°APF Norm** に戻します。

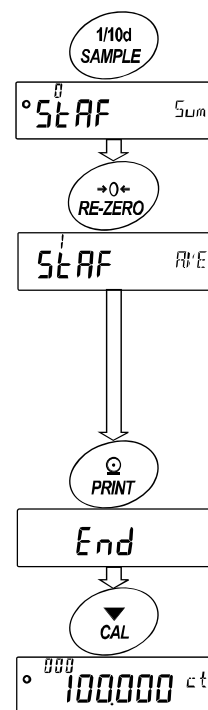


統計演算出力の選択

5. **[SAMPLE]** キーを押して **°Stat Sum** を表示させます。
6. **[RE-ZERO]** キーを押して、任意の設定値に変更します。
 表示例では、データ数、合計、最大、最小、範囲（最大—最小）、平均の出力が選択されています。

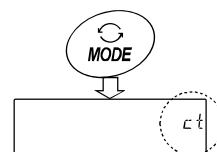
設定値	内容
0	データ数、合計
1	データ数、合計、最大、最小、範囲（最大—最小）、平均
2	データ数、合計、最大、最小、範囲（最大—最小）、平均、標準偏差、変動係数
3	データ数、合計、最大、最小、範囲（最大—最小）、平均、標準偏差、変動係数、最大値の相対誤差、最小値の相対誤差

7. **[PRINT]** キーを押して記憶させます。
8. **[CAL]** キーを押すと計量表示に戻ります。



計量単位の選択

9. 統計演算機能で使用する単位を **[MODE]** キーで選択します。右図例：ct。
- ※ データが入力された後は、**[MODE]** キーによる単位選択はできません。この場合は、統計データクリア（42ページ）を行い、全てのデータを消去してから、**[MODE]** キーで単位を選択してください。
 - ※ 電源投入時から統計単位機能を有効にする場合は、内部設定の「単位登録 (Unit)」で使用する単位を設定しておく便利です。



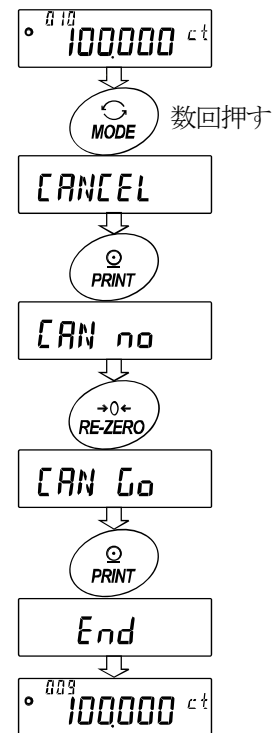
シンボル	演算内容
Σn	合計
$\bar{n} \max$	最大
$\bar{n} \min$	最小
r	範囲 (最大—最小)
\bar{Ave}	平均
Sd	標準偏差
Cv	変動係数
$\bar{n} \max\%$	最大値の相対誤差
$\bar{n} \min\%$	最小値の相対誤差

出力例	内部設定値
N	10
SUM	+10.000ct
MAX	+1.050ct
MIN	+0.950ct
R	+0.100ct
AVE	+1.000ct
SD	+0.2800 ct
CV	+2.80 %
MAX%	+5.00 %
MIN%	+5.00 %

(3) 最新データの削除

誤ったデータを入力した際に、データを統計処理から除外します。
削除されるのは最後に入力したデータ1つのみで、2つ以前のデータは削除できません。

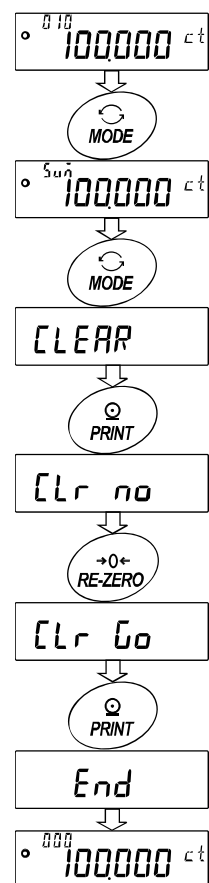
1. 計量表示中に **MODE** キーを数回押して、**CANCEL** を表示させます。
2. **PRINT** キーを押して **CAN no** を表示させます。
3. **RE-ZERO** キーを押して **CAN Co** を表示させます。
4. **PRINT** キーを押すと最新データが統計処理から除外され、計量表示のデータ数が1つ減ります。



(4) 統計データのクリア

統計データを全て消去し、データ数をゼロにします。

1. 計量表示中に **MODE** キーを数回押して、**CLEAR** を表示させます。
2. **PRINT** キーを押して **CLr no** を表示させます。
3. **RE-ZERO** キーを押して **CLr 00** を表示させます。
4. **PRINT** キーを押すと、統計データが初期化されます。
計量表示のデータ数がゼロになります。



8-12.コンパレータの解説

コンパレータの結果は **HI** **OK** **LO** で表示します。比較の適用範囲には次の5種類があります。

- 「比較しない」
 - 「安定時に比較する（ゼロ付近を除く）」
 - 「安定時に比較する（ゼロ付近を含む）」
 - 「常に比較する（ゼロ付近を除く）」
 - 「常に比較する（ゼロ付近を含む）」
- 比較の基準は「上限値」と「下限値」です。
 - 各値の入力方法は「デジタル入力」です。
 - 内部設定「コンパレータ (CP Fnc)」を参照してください。
 - ゼロ付近とは、最小表示の±10デジット以内です。例えば、FZ-1200CTでグラム表示の場合は、±0.010ct以内がゼロ付近となります。

設定例（ゼロ付近を除き常に比較、上下限値のデジタル入力）

比較方法の選択（適用範囲と比較基準、値の入力）

1. **SAMPLE** キーを長押し（約2秒間）して内部設定モードの **bAS Fnc** を表示させます。
2. **SAMPLE** キーを数回押して **CP Fnc** の表示にします。
3. **PRINT** キーを押します。
4. **RE-ZERO** キーを数回押して **CP ALL E=0** の表示にします。
5. **PRINT** キーを押すと、選択した方法を登録します。

上限値の入力

6. **CP HI** を表示しているとき、**PRINT** キーを押してください。現在設定されている上限値を表示します（全点滅）。設定値を変更する必要がない場合 **PRINT** または **CAL** キーを押してください。手順7に進みます。設定値を変更する場合は、**RE-ZERO** キーを押し、次のキーで変更・登録します。

SAMPLE キー……………点滅する桁を移動します。

RE-ZERO キー……………点滅する桁の値を変更します。

MODE キー……………極性反転します。

PRINT キー……………登録し、手順7へ進みます。

CAL キー……………キャンセルし、手順7へ進みます。

下限値の入力

7. **CP LO** を表示しているとき、**PRINT** キーを押すと、現在設定されている下限値を表示します（全点滅）。設定値を変更する必要がない場合、**PRINT** または **CAL** キーを押してください。手順8に進みます。設定値を変更する場合は **RE-ZERO** キーを押し、次のキーで変更・登録します。

SAMPLE キー……………点滅する桁を移動します。

RE-ZERO キー……………点滅する桁の値を変更します。

MODE キー……………極性反転します。

PRINT キー……………登録し、手順8へ進みます。

CAL キー……………キャンセルし、手順8へ進みます。

8. **CAL** キーを押すと、計量表示に戻ります。

8-13. 日付・時刻の確認と設定方法 (FZ-CTシリーズのみ)

FZ-CTシリーズは、内蔵されている日付・時刻の確認と設定を使用できます。(FX-CTシリーズでは日付・時刻の確認と設定は使用できません。) 内部設定「データ出力 (dout)」にて、GLP出力 (info) を選択した場合に、GLP出力、見出し、終了に日付・時刻が付加されます。

1. 計量モードにて **[SAMPLE]** キーを長押しして **bASFunc** を表示させます。
2. **[SAMPLE]** キーを押して **[CL Rdu]** を表示させます。
3. **[PRINT]** キーを押すと、時刻・日付の確認と設定を行うモードに入ります。

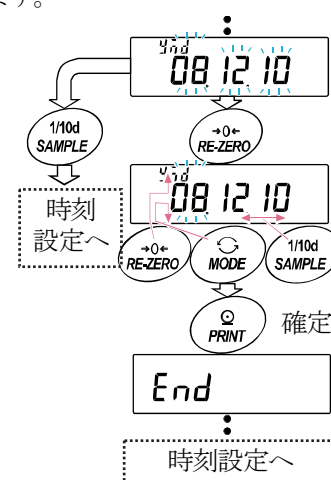
日付の確認

4. 現在の日付が表示されます。
 - 日付が合っており、時刻の確認が不要の場合は **[CAL]** キーを押してください。手順8に進みます。
 - 日付が合っており、時刻の確認をする場合は **[SAMPLE]** キーを押してください。手順6に進みます。
 - 日付を変更する場合は **[REZERO]** キーを押してください。手順5に進みます。

日付の設定 (一部の桁の点滅)

5. 下記キーで日付を決定してください。
(年は西暦下2桁で設定します。2009年の場合は「09」です。)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| [REZERO] キー | 点滅桁の数値を変更 (+1) します。 |
| [MODE] キー | 点滅桁の数値を変更 (-1) します。 |
| [SAMPLE] キー | 点滅桁を移動します。 |
| [PRINT] キー | 新たに設定された日付を登録します。 |
| | [End] 表示後、手順6に進みます。 |
| [CAL] キー | 設定された日付をキャンセルし、手順6に進みます。 |



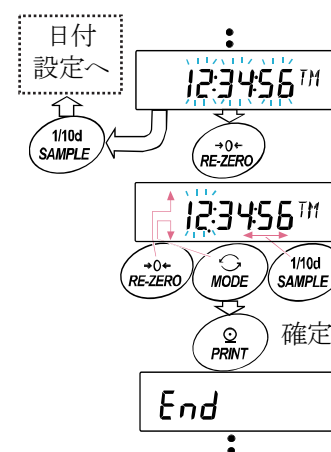
時刻の確認

6. 現在の時刻が表示されます。(全桁点滅)
 - 時刻が合っており、日付の再確認が不要な場合は **[CAL]** キーを押してください。手順8に進みます。
 - 時刻が合っており、日付の再確認をする場合は **[SAMPLE]** キーを押してください。手順4に進みます。
 - 時刻を変更する場合は **[REZERO]** キーを押してください。手順7に進みます。

時刻の設定

7. 下記のキーで時刻を設定してください。(24時間制)

[REZERO] キー	点滅桁の数値を変更 (+1) します。 秒の桁は 00 ⇄ 30 を切り替えます。
[MODE] キー	点滅桁の数値を変更 (-1) します。 秒の桁は 00 ⇄ 30 を切り替えます。
[SAMPLE] キー	点滅桁を移動します。
[PRINT] キー	新たに設定された時刻を登録します。
	[End] 表示後、手順8に進みます。
[CAL] キー	設定された時刻をキャンセルし、手順4に進みます。



確認・設定終了

8. 内部設定の次の項目 **[CP Func]** が表示されます。 **[CAL]** キーを押すと終了です。

注意

- 不正な値 (存在しない日付) は設定しないでください。時計のバックアップ電池が切れると **[rtc PF]** 表示になります。 **[rtc PF]** 表示の場合、いずれかのキーを押し、日付・時刻の設定を行ってください。時計のバックアップ電池が切れても時計機能以外には影響しません。また、時計機能は、天びんが通電されていれば正常に動作します。

9-3. GLP出力

GLP/GMP等に対応したデータをコンパクトプリンタ AD-8121B、ミニプリンタ AD-8126、マルチプリンタ AD-8127、PCで出力するためには、内部設定 *info 1* (AD-8121用フォーマット) または、*info 2* (天びん内蔵の時計データを使用した汎用フォーマット)、*info 3* (外部機器の時計データを使用した汎用フォーマット) のいずれかに設定します。

注意

コンパクトプリンタ AD-8121B、ミニプリンタ AD-8126、マルチプリンタ AD-8127 に出力する場合

- 接続に関しては「12. RS-232Cインターフェース」の「12-2. 周辺機器との接続」を参照してください。
- AD-8121B は MODE3 を使用します。MODE1 で計量値を印字していた場合、AD-8121B の **STAT** キーを押して一時的にダンププリントモードを選択してください。
- マルチプリンタ AD-8127 は「ダンプ印字モード」を使用します。「外部キー印字モード」で計量値を印字していた場合、AD-8127 の **ENT** キーを長押し (約 2 秒間) することで「外部キー印字モード」と「ダンプ印字モード」を切り替えられます。
- 天びんの内部設定「データ出力間隔 (PULSE)」を「1」に設定します。
- 天びん内蔵の時計データを出力する (*info 1, 2*) 場合で、日付・時刻が合っていない場合は、FZ-CTシリーズでは天びん内部設定 (CL Adj)、FX-CTシリーズではAD-8121Bの日付・時刻の調整を行ってください。
- *info 3* の設定は、天びんのソフトウェアバージョン 1.860 以降で設定可能です。

内蔵分銅によるワンタッチ・キャリブレーション時の出力 (FZ-CTシリーズのみ)

内蔵分銅を使って天びんを感度調整したときのGLP出力です。

内部設定 *info 1* の場合
AD-8121フォーマット

```

                A & D
MODEL  FZ-1200CT
S/N    012345678
ID     ABCDEFG
DATE   2011/12/31
TIME   12:34:56
CALIBRATED (INT.)
REMARKS

SIGNATURE
.....
    
```

内部設定 *info 2* の場合
天びん内蔵の時計データを使用した汎用フォーマット

```

.....A_&_D<TERM>
MODEL__FZ-1200CT<TERM>
S/N____012345678<TERM>
ID_____ABCDEFG<TERM>
DATE<TERM>
_____2011/12/31<TERM>
TIME<TERM>
_____12:34:56<TERM>
CALIBRATED (INT.)<TERM>
REMARKS<TERM>
<TERM>
<TERM>
SIGNATURE<TERM>
<TERM>
<TERM>
-----<TERM>
<TERM>
<TERM>
    
```

- ← メーカー名 →
- ← 機種名 →
- ← 製造番号 →
- ← ID →
- ← 日付 →
- ← 時刻 →
- ← 校正 →
- ← 備考欄 →
注意書きやメモを書く際
にご利用ください。
- ← サイン記入欄 →
サインを書く際
にご利用ください。

□ スペース、ASCII 20h。

<TERM>ターミネータ、CR LF または CR。

CR キャリッジリターン、ASCII 0Dh。

LF ラインフィード、ASCII 0Ah。

内蔵分銅によるキャリブレーション・テスト時の出力 (FZ-CTシリーズのみ)

内蔵分銅を使って天びんの計量精度を確認するときのGLP出力です。(校正は行いません)

内部設定 *info 1* の場合

AD-8121フォーマット

```

          A & D
MODEL    FZ-1200CT
S/N      012345678
ID       ABCDEFG
DATE     2011/12/31
TIME     12:23:34
CAL.TEST<INT.>
ACTUAL
          0.000 g
          +199.999 g
TARGET
          +200.0000 g
REMARKS

SIGNATURE
-----
    
```

内部設定 *info 2* の場合

天びん内蔵の時計データを使用した汎用フォーマット

```

          A_&_D<TERM>
MODEL__FZ-1200CT<TERM>
S/N____012345678<TERM>
ID_____ABCDEFG<TERM>
DATE<TERM>
          2011/12/31<TERM>
TIME<TERM>
          12:23:34<TERM>
CAL.TEST<INT.><TERM>
ACTUAL<TERM>
          0.000__g<TERM>
          +199.999__g<TERM>
TARGET<TERM>
          +200.0000__g<TERM>
REMARKS<TERM>
<TERM>
<TERM>
SIGNATURE<TERM>
<TERM>
<TERM>
-----<TERM>
<TERM>
<TERM>
    
```

← メーカー名 →
 ← 機種名 →
 ← 製造番号 →
 ← ID →
 ← 日付 →
 ← 時刻 →
 ← キャリブレーション・テスト →
 ← ゼロ点の結果 →
 ← 荷重した分銅の結果 →
 ← 使用したターゲット分銅 →
 ← 備考欄 →
 ← サイン記入欄 →

␣スペース、ASCII 20h。

<TERM>ターミネータ、CR LF または CR。

CR キャリッジリターン、ASCII 0Dh。

LF ラインフィード、ASCII 0Ah。

お手持ちの分銅によるキャリブレーション時の出力

お手持ちの分銅を使って天びんを校正したときのGLP出力です。

内部設定 *info 1* の場合

AD-8121フォーマット

```

          A & D
MODEL    FX-1200CT
S/N      012345678
ID       ABCDEFG
DATE     2011/12/31
TIME     12:23:34
CALIBRATED<EXT.>
CAL.WEIGHT
          +200.0000 g
REMARKS

SIGNATURE
-----
    
```

内部設定 *info 2* の場合

天びん内蔵の時計データを使用した汎用フォーマット

```

          A_&_D<TERM>
MODEL__FX-1200CT<TERM>
S/N____012345678<TERM>
ID_____ABCDEFG<TERM>
DATE<TERM>
          <TERM>
TIME<TERM>
          <TERM>
          *
CALIBRATED<EXT.><TERM>
          *
CAL.WEIGHT<TERM>
          +200.0000__g<TERM>
REMARKS<TERM>
<TERM>
<TERM>
SIGNATURE<TERM>
<TERM>
<TERM>
-----<TERM>
<TERM>
<TERM>
    
```

← メーカー名 →
 ← 機種名 →
 ← 製造番号 →
 ← ID →
 ← 日付 →
 ← 時刻 →
 ← 校正 →
 ← 校正分銅値 →
 ← 備考欄 →
 ← サイン記入欄 →

␣スペース、ASCII 20h。

<TERM>ターミネータ、CR LF または CR。

CR キャリッジリターン、ASCII 0Dh。

LF ラインフィード、ASCII 0Ah。

* FZ-CTシリーズは、日付・時刻が出力されます。

お手持ちの分銅によるキャリブレーション・テスト時の出力

お手持ちの分銅を使って天びんの計量精度を確認するときのGLP出力です。(校正は行いません。)

内部設定 *info 1* の場合

AD-8121フォーマット

```

          A & D
MODEL    FX-1200CT
S/N      012345678
ID       ABCDEFG
DATE     2011/12/31
TIME     12:23:34
CAL.TEST(EXT.)
ACTUAL
          0.000 g
          +199.999 g
TARGET
          +200.0000 g
REMARKS

SIGNATURE
-----
    
```

内部設定 *info 2* の場合

天びん内蔵の時計データを使用した汎用フォーマット

```

          A_&_D<TERM>
MODEL_ _FX-1200CT<TERM>
S/N_ _ _012345678<TERM>
ID_ _ _ _ _ABCDEFGHI<TERM>
DATE<TERM>
<TERM>
          *
TIME<TERM>
<TERM>
          *
CAL. TEST (EXT. )<TERM>
ACTUAL<TERM>
          0.000_ _g<TERM>
          +199.999_ _g<TERM>
TARGET<TERM>
          +200.0000_ _g<TERM>
REMARKS<TERM>
<TERM>
<TERM>
SIGNATURE<TERM>
<TERM>
<TERM>
-----<TERM>
<TERM>
<TERM>
    
```

□スペース、ASCII 20h。

<TERM>ターミネータ、CR LF または CR。

CR キャリッジリターン、ASCII 0Dh。

LF ラインフィード、ASCII 0Ah。

* FZ-CTシリーズは、日付・時刻が出力されます。

見出しと終了の出力

用途・動作

「一連の計量値」の管理方法として、計量値の前後に「見出し」と「終了」の部分を追加します。

PRINT キーを長押し (約 2 秒間) する操作で「見出し」と「終了」を交互に出力します。

注意

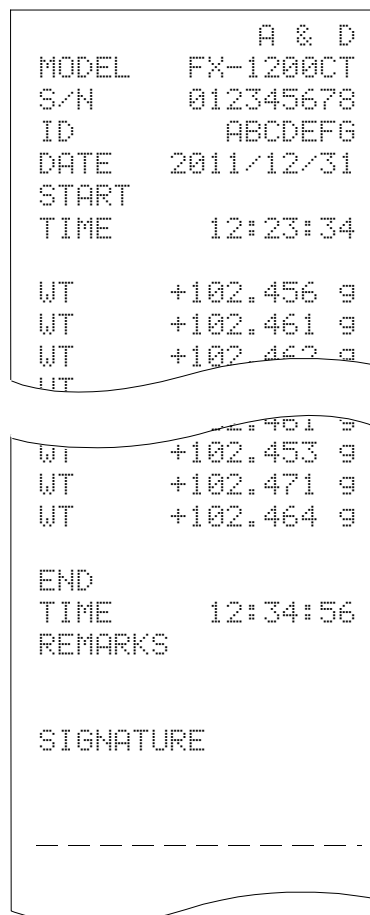
- AD-8121B プリンタヘデータを出力する場合、AD-8121B は MODE3 に設定してください。

キーによる出力方法

1. 計量値を表示しているとき **PRINT** キーを長押し(約 2 秒間)して **Start** の表示にすると、「見出し」を出力します。
2. 計量値を出力させます。出力方法は、データ出力モードの設定によります。
3. **PRINT** キーを長押し(約 2 秒間)して **rEcEnd** の表示にすると、「終了」を出力します。

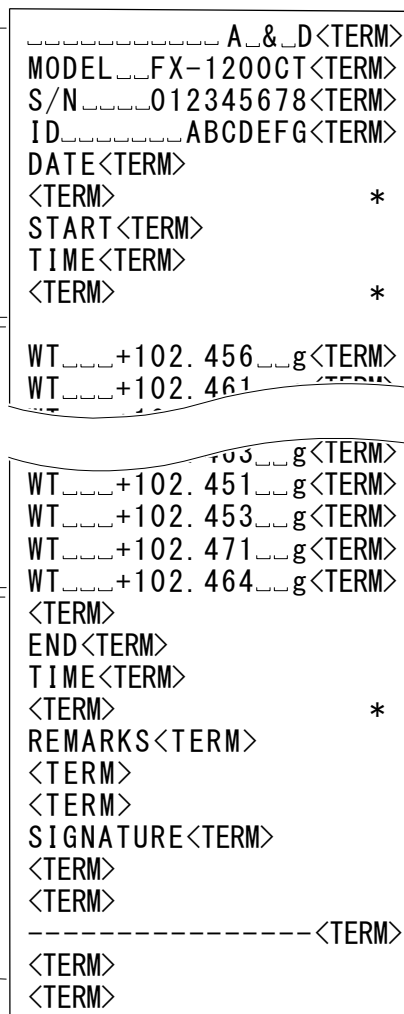
内部設定 *info 1* の場合

AD-8121フォーマット



内部設定 *info 2* の場合

天びん内蔵の時計データを使用した汎用フォーマット



□ スペース、ASCII 20h。
 <TERM>ターミネータ、CR LF または CR。
 CR キャリッジリターン、ASCII 0Dh。
 LF ラインフィード、ASCII 0Ah。

* FZ-CTシリーズは、日付・時刻が出力されます。

外部機器の時計データを出力 “*info 3*” (ソフトウェアバージョン 1.860 以降)

GLP/GMP等データを出力する際、内部設定 *info 3* に設定することで、天びん内蔵の時計データではなく、PCやプリンタなどの外部機器の時計データを使用できます。

時計データを外部機器の時計機能で統一したい場合に使用します。

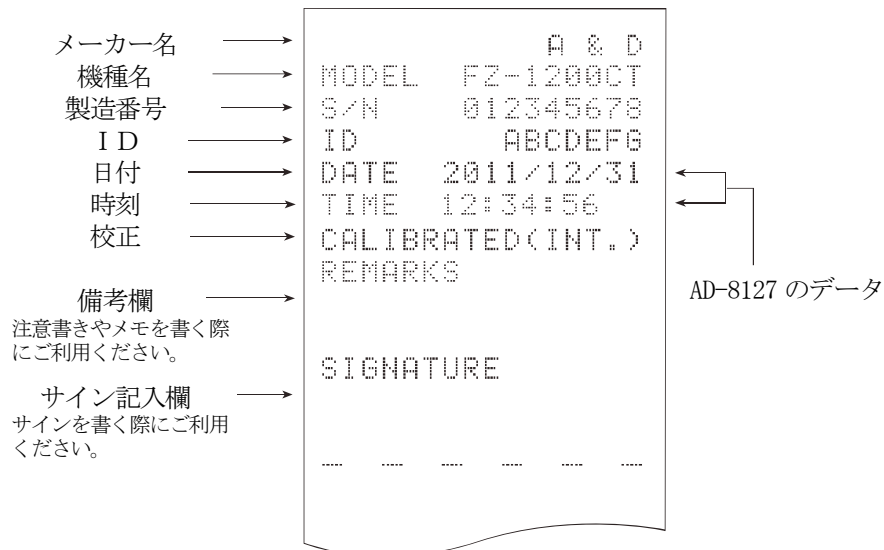
日付・時刻以外は、*info 2* と同様のフォーマットとなります。

注意

- *info 3* はソフトウェアバージョン 1.860 以降で設定可能です。
- 外部機器の時計データ出力は時計機能を持っており、<ESC>D、<ESC>T を受けて日付・時刻を出力できる機器が対象となります。(AD-8127[マルチプリンタ]やデータ通信ソフトRsCom [WinCT] など)
- データメモリ機能のキャリブレーション履歴の保存では *info 3* に設定した場合でも、天びん内部の時計データが保存されます。

内蔵分銅を使って天びんを感度調整したときのGLP出力です。

内部設定 *Info 3* の場合
外部機器の時計データを使用した汎用フォーマット



10. 床下ひょう量金具

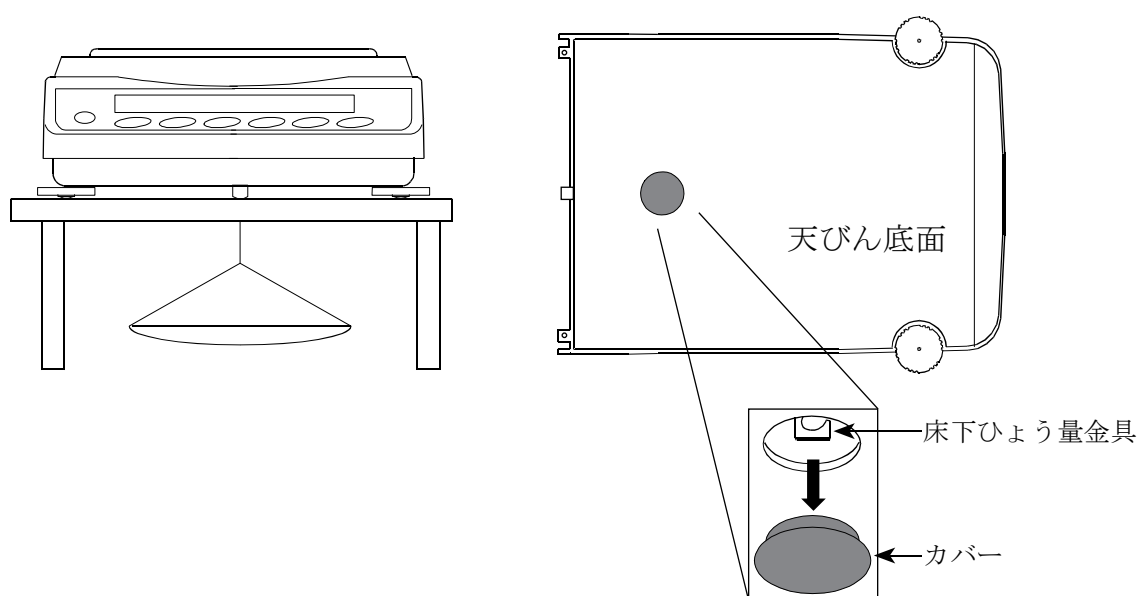
床下ひょう量金具の用途は、磁性体の測定や比重測定などの床下計量です。

床下ひょう量金具は、天びんの底面のカバーを開けると使用できます。

注意 金具部分に無理な力を加えないでください。

防塵のため、必要がないかぎり、カバーを開けないでください。

床下ひょう量金具は、つり下げ方向（引っ張り方向）のみです。



11. パスワード機能

パスワード機能により、天びんの使用や機能を制限することが可能です。

日付・時刻設定の改ざん防止や、使用者による内部設定変更の防止に有効です。

パスワードは、4キー（**MODE**、**SAMPLE**、**PRINT**、**RE-ZERO**）、4桁で設定します。

（ $4 \times 4 \times 4 \times 4 = 256$ 通り）

出荷時設定ではパスワード機能が無効になっています。

パスワード機能の有効/無効やパスワード設定は内部設定で行います。

注意

- 天びんのソフトウェアバージョンにより機能が異なります。

11-1. 天びんソフトウェアバージョン 1.70~1.85

内部設定の「パスワード機能 (LocFnc)」の設定により、2種類の設定が可能です。

PASS 0	パスワード機能なし
PASS 1	計量スタート時にパスワード入力进行要求

PASS 0 (パスワード機能なし)

誰でも計量作業が可能です。全ての機能を使用でき、設定変更も可能です。

パスワード機能は使用しません。

PASS 1 (計量スタート時にパスワード入力进行要求)

管理者 (AdMTM) が固有のパスワードを設定することにより天びんの使用者を限定することが出来ます。

設定可能なパスワードは1種類 (管理者用のパスワード) です。

正しいパスワードを入力しない限り、天びんは計量状態になりません。

11-2. 天びんソフトウェアバージョン 1.860 以降

内部設定「パスワード機能 (LocFnc)」により3種類の設定が可能です。

PASS 0	パスワード機能なし
PASS 1	計量スタート時にパスワード入力进行要求
PASS 2	設定変更時は管理者のパスワードでログインが必要

PASS 0 (パスワード機能なし)

パスワード機能は使用しません。

誰でも計量作業が可能です。全ての機能を使用でき、設定変更も可能です。

PASS 1 (計量スタート時にパスワード入力进行要求)

管理者 (AdMTM) が固有のパスワードを設定することにより天びんの使用者を限定することができます。

(**ON:OFF** キーによる計量スタート時に、パスワード入力进行要求されます。)

正しいパスワードを入力しない限り、天びんは計量状態になりません。

ログインレベルは管理者 (AdMTM) と使用者 (USER 0 ~ 10) の2段階あります。

管理者 (AdM TM)	全ての機能や設定を使用することが可能です。 使用者10人分のパスワードを個別に設定可能です。
使用者 (USER 0 ~ 10)	初期化や設定変更 (時計を含む) に制限がかかります。
パスワードなし	天びんの使用ができません。

PASS 2 (設定変更時は管理者のパスワードでログインが必要)

誰でも計量作業可能ですが、初期化や設定変更 (時計を含む) には制限をかけられる機能です。

(**ON:OFF** キーによる計量スタート時に、パスワード入力は要求されません。)

ログインレベルは管理者 (ADMTM) とゲスト (GUEST) の2段階あります。

管理者 (ADM TM)	全ての機能や設定を使用することが可能です。
ゲスト (GUE ST) ※パスワードなし	初期化や設定変更 (時計を含む) に制限がかかります。

表示オフ状態で、**CAL** キーを押しながら **ON:OFF** キーで計量スタートした場合、管理者 (ADMTM) のパスワード入力が要求されます。

ログインレベルにより制限がかかる項目

ログインレベル	計量		
	計量スタート時のパスワード入力	キャリブレーション (感度調整)	設定変更 *1
管理者 (ADM TM)	必要	可能	可能
使用者 (USER 01~10)		可能または不可 *2	不可
ゲスト (GUE ST)	不要		

*1 応答特性の変更、内蔵分銅による繰り返し性確認、機能選択と初期化、内部設定 (時刻・日付設定等)

*2 通常は使用可能ですが、管理者 (ADMTM) が「7-1. 機能選択」で禁止に設定することにより、使用者 (USER 01~10) やゲスト (GUEST) の使用を不可にすることができます。

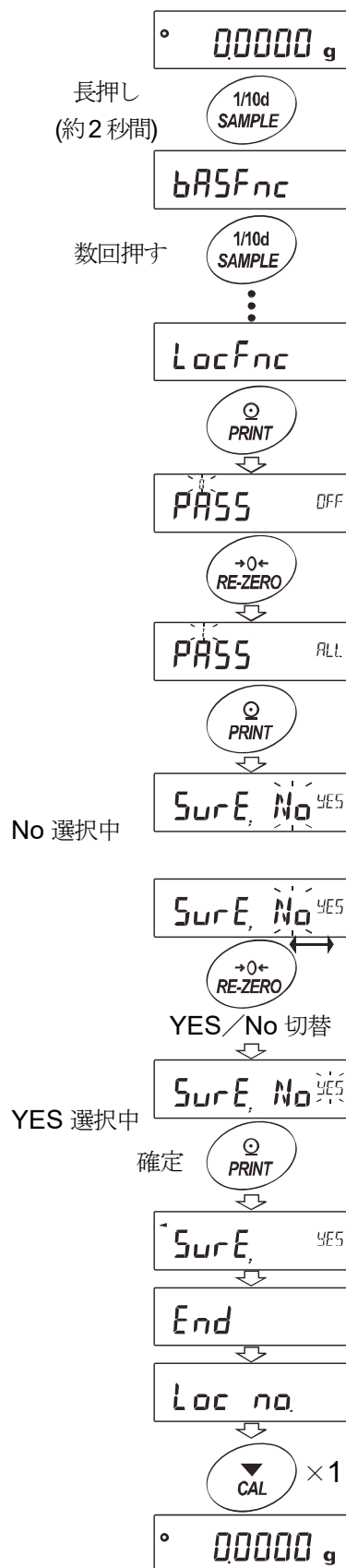
11-3.パスワード機能を有効にする

内部設定の「パスワード機能 (LocFnc)」にて、パスワード機能の無効(0)／有効(1)／有効(2)を切り替えられます。

- 1 計量モードにて **SAMPLE** キーを長押し (約2秒間) して、**bASFnC** を表示させます。
- 2 **LocFnc** が表示されるまで **SAMPLE** キーを数回押します。
- 3 **PRINT** キーを押すと、PASS “0” を表示します。
(キャンセルする場合は **CAL** キーを押します。)
- 4 **RE-ZERO** キーを押すと、数字が切り替わります。
“1” または “2” を表示させます。
- 5 **PRINT** キーを押して **SurE, No^{YES}** を表示します。
(No選択中はNo点滅)
- 6 **RE-ZERO** キーで YES/Noを切り替えます。
- 7 **SurE, No^{YES}** 表示にします。
(YES選択中はYES点滅)
- 8 YES選択中に **PRINT** キーを押すと、パスワード機能が有効になります。
- 9 **Loc no.** が表示されます。パスワードの登録 (変更) を行う場合は、「11-6. パスワードの登録 (変更)」の手順 3 へ進みます。登録 (変更) を行わない場合は、**CAL** キーを押して計量表示に戻ります。

注意

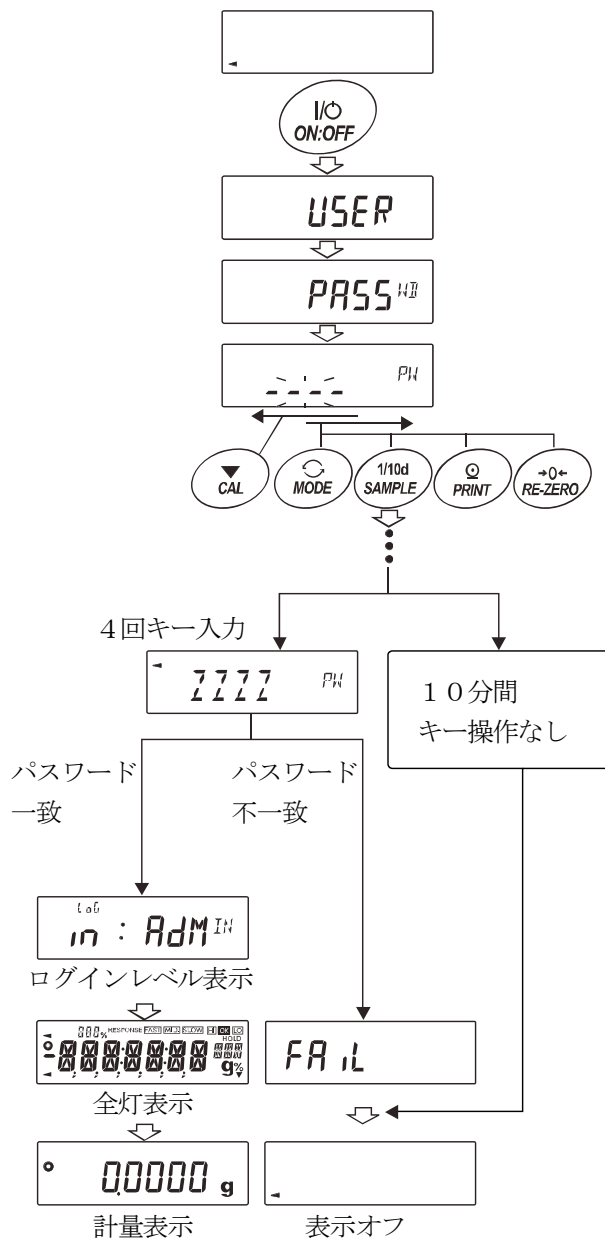
- 天びんのソフトウェアバージョンが1.70~1.85の場合は、無効(0)／有効(1)の切り替えのみ選択できます。



11-4. 計量スタート時のパスワードの入力方法

PASS 1 (計量スタート時にパスワード入力を要求) の場合

- 1 表示オフ状態で **ON/OFF** キーを押します。
- 2 **USER** **PASS** 表示の後、
パスワード入力表示 **PH** になります。
- 3 次のキー操作でパスワードを4桁入力してください。
10分間キー操作がない場合、表示オフになります。
MODE キー **M** 入力
SAMPLE キー **S** 入力
PRINT キー **P** 入力
RE-ZERO キー **Z** 入力
CAL キー 1文字戻す。



- 4 パスワードが一致すると、ログインレベルが表示され、全灯表示後、計量表示になります。
 管理者のパスワードを入力すると管理者でログインします。(出荷時のパスワードは管理者レベルにて **RE-ZERO** キー4回の **7777** に設定されています。)
 パスワードが間違っている場合、**FAIL** 表示でブザー音が3回鳴り表示オフ状態になります。

注意

- 天びんのソフトウェアバージョンが1.70~1.85の場合は、ログイン時のログインレベルは表示されません。
- 天びんのソフトウェアバージョン1.860以降は、管理者レベルでログインする場合、計量スタート時に管理者のパスワードを入力してください。

PASS 2 (設定変更時は管理者のパスワードが必要) の場合

管理者 (AdM^{INT}) でログインする場合

- 1 表示オフ状態で **CAL** キーを押しながら **ON:OFF** キーを押します。

- 2 次のキー操作でパスワードを4桁入力してください。
10分間キー操作がない場合、表示オフになります。

MODE キー **M** 入力

SAMPLE キー **5** 入力

PRINT キー **P** 入力

RE-ZERO キー **7** 入力

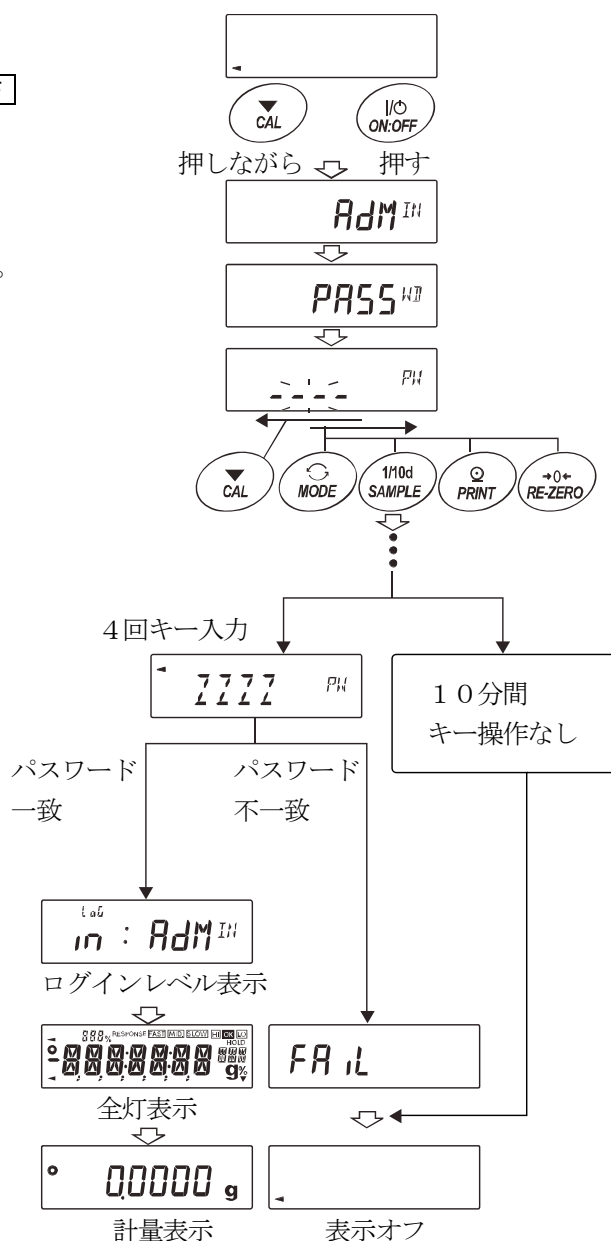
CAL キー 1文字戻す。

- 3 パスワードが一致するとログインレベルが表示され、全灯表示後、計量表示になります。

(出荷時のパスワードは管理者レベルにて

RE-ZERO キー4回の **7777** に設定されています。)

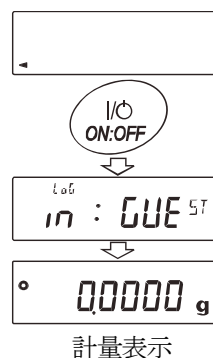
パスワードが間違っている場合、**FAIL** 表示でブザー音が3回鳴り表示オフ状態になります。



ゲスト (GUEST) でログインする場合

1. 表示オフ状態で **ON:OFF** キーを押します。

2. **in : GUEST** 表示の後、計量表示に移ります。



11-5. ログアウト方法

- 1 **ON:OFF** キーにより表示オフ状態にすることで、ログアウトになります。

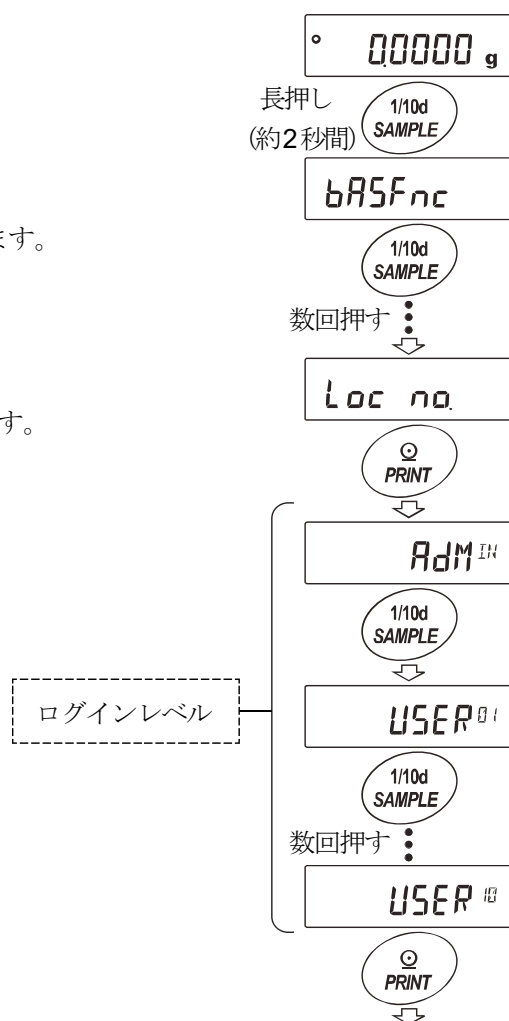
LocFnc I の場合、表示オフ状態から計量モードに移行する際は、再度、パスワード入力を要求されます。



11-6. パスワードの登録 (変更)

内部設定の「パスワード設定 (Loc no)」にてパスワードの設定 (変更) が行えます。

- 1 計量モードにて **SAMPLE** キーを長押し (約2秒間) して **bASFnC** を表示させます。
- 2 **Loc no** が表示されるまで **SAMPLE** キーを数回押します。
- 3 **PRINT** キーを押すとログインレベル (**AdMTM**) を表示します。
- 4 **SAMPLE** キーを押して、変更したいログインレベル (**AdMTM/USER 01~09**) を表示させます。
すでにパスワードが登録されているログインレベルは、安定マーク **°** が点灯します。
(パスワードの変更は可能)
- 5 パスワードを変更する場合、**PRINT** キーを押します。
「11-7. パスワードの変更方法」を参照してください。



「11-7. パスワードの変更方法」を参照

注意

- **ON:OFF** キーにより表示オフ状態にすることで、ログアウトになります。
- **LocFnc 2** の場合、管理者でログインする際に **AdMTM** のパスワードが必要になります。
USER 01~09 のパスワード登録は不要です。
- 天びんのソフトウェアバージョンが1.70~1.85 の場合、登録できるパスワードは1つです。
Loc no 表示時に **PRINT** キーを押すと、現在のパスワードを表示します。

11-7.パスワードの変更方法

1 「11-6. パスワードの登録 (変更)」を参照して、パスワードを変更したいログインレベルを表示させてください。

2 **PRINT** キーを押して現在のパスワードを表示します。
(出荷時のパスワードは、管理者レベルで **RE-ZERO** キー4回の **7777** に設定されています。)

3 次のキー操作で新しいパスワードを入力してください。
パスワード入力中に10分間キー操作がない場合、表示オフになります。

MODE キー M 入力

SAMPLE キー S 入力

PRINT キー P 入力

RE-ZERO キー Z 入力

CAL キー 1文字戻す。

CAL キー長押し パスワードの削除

「11-8. パスワードの削除方法 (USER 01~10)」を参照

4 4回キー入力後、新しいパスワードが表示されます。

5 **SurE, No^{YES}** が表示されます。(No選択中はNo点滅)
(**CAL** キーを押すと4文字目入力に戻ります。)

6 **RE-ZERO** キーで **SurE, No^{YES}** 表示にします。
(YES選択中はYES点滅)

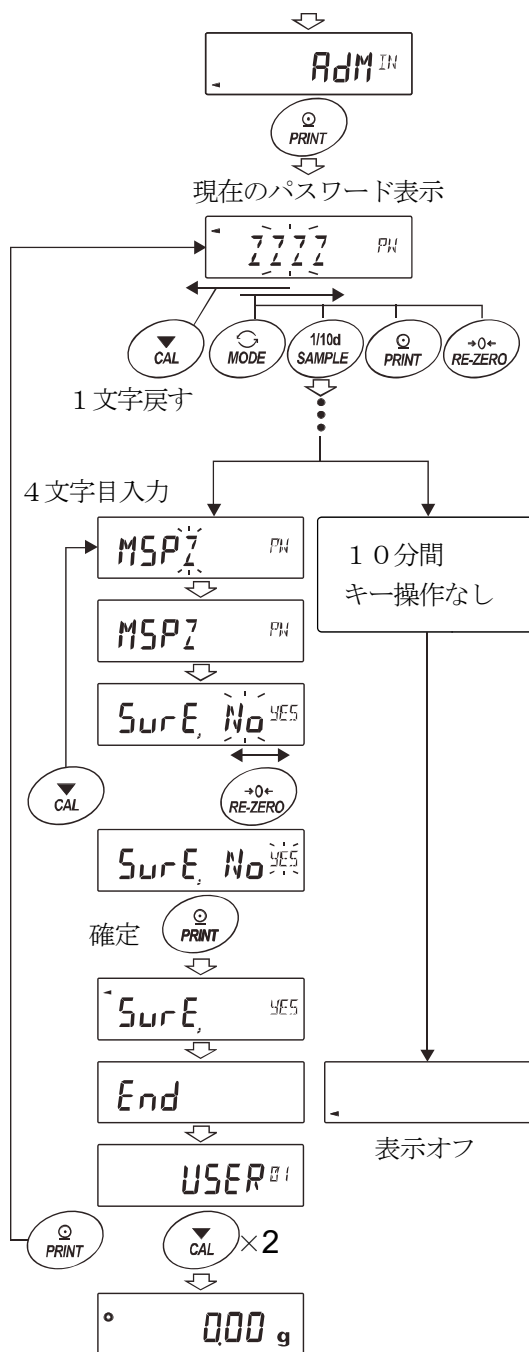
7 YES選択中に **PRINT** キーを押すと新しいパスワードが設定されます。

8 設定が終わると、次のレベルが表示されます。
設定を続ける場合は、手順2から設定をしてください。
設定を終了する場合は、**CAL** キーを2回押すと計量表示に戻ります。

注意

- パスワードを忘れると天びんが使用できなくなりますので、登録したパスワードは記録して保管しておいてください。
- すでに管理者 (Adm^{IN}) で登録されているパスワードと同じパスワードは使用者 (USER 01~10) で登録できません。

「11-6. パスワードの登録 (変更)」を参照



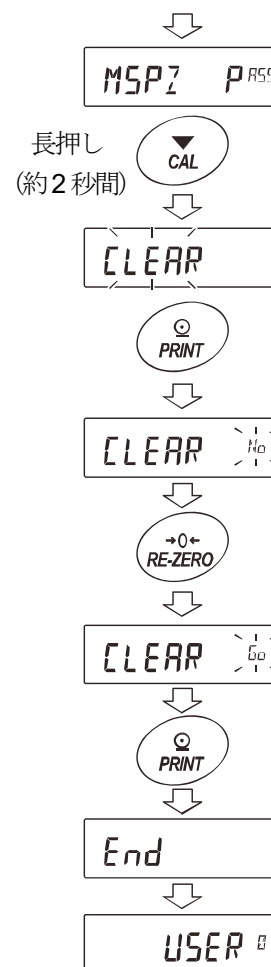
11-8. パスワードの削除方法 (USER 01~10)

- 1 「11-7. パスワードの変更方法」を参照して、パスワードを削除したいユーザー (USER 01~10) を選択し、パスワード入力画面にします。
- 2 パスワード入力時に **CAL** キーを長押し (約2秒間) して、**CLEAR** を表示 (点滅) させます。
- 3 **PRINT** キーを押して **CLEAR** **Go** を表示させます。
- 4 **RE-ZERO** キーで **Go/No** を切り替えます。
- 5 **CLEAR** **Go** 表示で **PRINT** キーを押すと **End** 表示になりパスワードが削除されます。

注意

- 管理者のパスワードは削除できません。「11-6. パスワードの登録 (変更)」および、「11-7. パスワードの変更方法」を参照して任意のパスワードに変更してください。

「11-7. パスワードの変更方法」を参照



11-9. パスワードを忘れてしまった場合

万一、パスワードを忘れてしまった場合、天びんを使用できなくなります。
パスワードの解除については販売店にご相談ください。

12. RS-232Cインタフェース

12-1. インタフェースの仕様

本機はDCEです。パソコン（DTE）とはストレートケーブルで接続します。

伝送方式 EIA RS-232C (コネクタ形状：D-Sub9ピン [オス])

伝送形式 調歩同期式 (非同期)、双方向、半二重伝送

データ転送レート 約10回/秒または、約5回/秒 (表示書換と同じ回数/秒)

信号形式 ボーレート 600、1200、2400、4800、9600、19200bps

データビット 7ビット または 8ビット

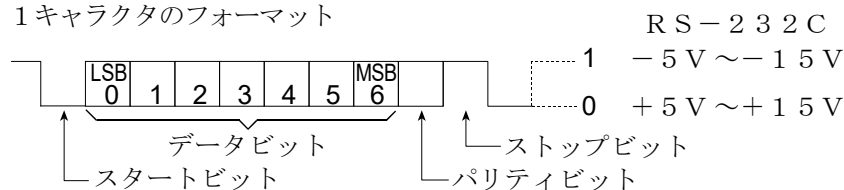
パリティ EVEN、ODD (データ長 7ビット)

NONE (データ長 8ビット)

ストップビット 1ビット

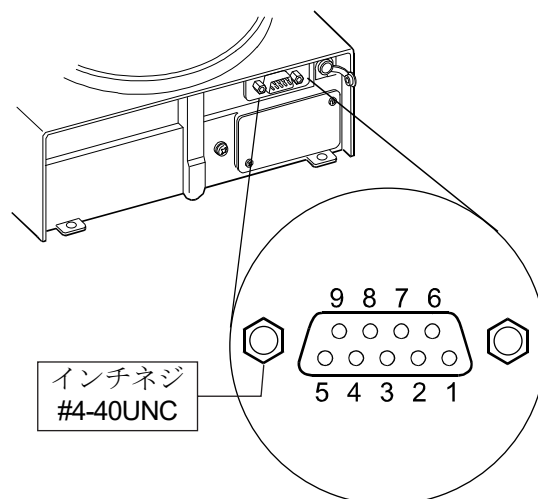
使用コード ASCII

1キャラクタのフォーマット

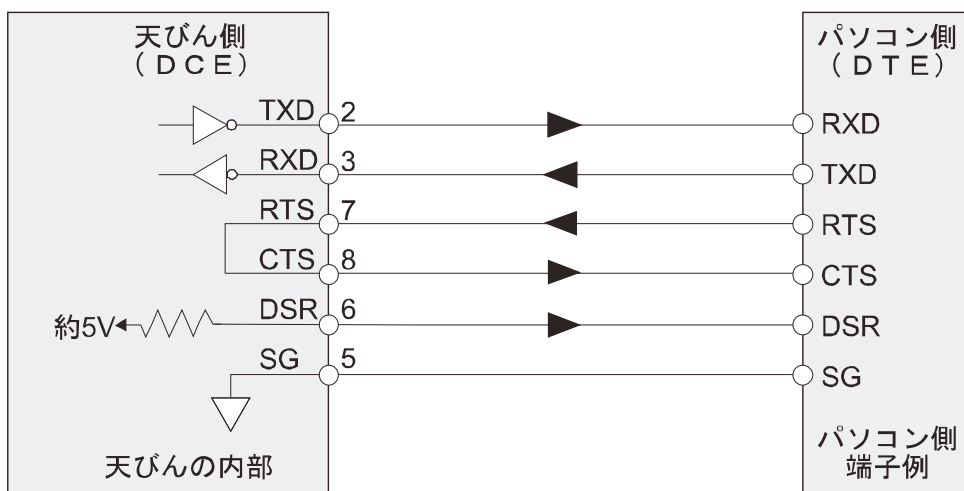


D-Sub9ピン配置

ピンNo.	信号名	方向	意味
1	-	-	SGと同電位 ※1
2	TXD	出	送信データ
3	RXD	入	受信データ
4	-	-	N. C.
5	SG	-	シグナル グラウンド
6	DSR	出	データセットレディ
7	RTS	入	送信要求
8	CTS	出	送信許可
9	-	出	12V出力 ※1



TXD、RXD以外はDTE側の名称です。



※1 エー・アンド・デイ製の一部の周辺機器で使用します。

PCやPLC等、他社製品と接続する場合は、結線しないでください。

誤った接続ケーブルを使用すると機器を壊す場合がありますので、必ず適合ケーブルを確認してください。

12-2. 周辺機器との接続

AD-8121B プリンタとの接続

AD-8121B を接続しデータをプリントする場合、天びんの内部設定を次のようにしてください。

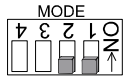
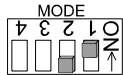
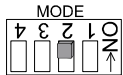
使用例	AD-8121B のモード設定
A&D標準フォーマットの重量データをFZ-CT/FX-CT本体の PRINT キーやオートプリントモードを使用して印字する場合(日付・時刻を印字可能)。	MODE 1
A&D標準フォーマットの重量データをAD-8121Bの DATA キーやAD-8121Bの内蔵タイマを使用して印字する場合(日付・時刻を印字可能)、AD-8121Bのチャート印字機能を使用する場合。	MODE 2
FZ-CT/FX-CTの統計演算機能を印字する場合。	MODE 3
GLP出力を印字する場合。	MODE 3

分類項目	設定項目	出荷時 設定値	AD-8121B MODE 1 の場合	AD-8121B MODE 2 の場合	AD-8121B MODE 3 の場合
dout データ出力	Prnt データ出力モード	0	0,1,2,4,5 注1	3	0,1,2,4,5 注1
	PUSE データ出力間隔	0	0	0	0,1 注2
Sif シリアルイン タフェース	bPS ボーレート	2	2	2	2
	btPr ビット長、パリティ	0	0	0	0
	CrLF ターミネータ	0	0	0	0
	tYPE データフォーマット	0	0	0	1

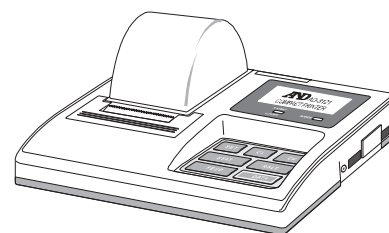
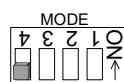
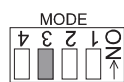
- 注1 データ出力モードがオートプリントモード (Prnt 1, 2) のとき、使用する条件に合うように、
 AP-P (オートプリント極性) と AP-b (オートプリント幅) を設定してください。
 Prnt 4 で非安定データを印字する場合、AD-8121B のディップスイッチ3をONにしてください。
- 注2 FZ-CT/FX-CTの統計演算機能で複数行を印字する場合、設定を1にしてください。

メモ

- プリントサンプルは「9. GLPとIDナンバ」を参考にしてください。
- AD-8121B の設定ディップスイッチ

モード	AD-8121B ディップスイッチ	説明
MODE 1		データ受信時に印字 標準モード、統計演算モード
MODE 2		DATA キー、AD-8121Bの内蔵タイマにより印字標準モード、 インターバルモード、チャートモード
MODE 3		データ受信時に印字 ダンププリントモード

ディップスイッチ3は非安定データの扱い
 ON 非安定データを印字する。
 OFF 非安定データを印字しない。
 ディップスイッチ4はOFFにしてください。



マルチプリンタ AD-8127 またはミニプリンタ AD-8126 との接続

天びんにプリンタを接続して計量値を印字する場合は、プリンタと天びんの使用例により、次のように設定してください。

プリンタの内部設定

使用例	ミニプリンタ AD-8126	マルチプリンタ AD-8127 印字モード設定
天びんの計量データを、天びんの PRINT キーや、天びんのオートプリントモードで印字する場合。	設定なし	EXT.KEY
天びんの計量データを、プリンタの印字キーやプリンタのタイマーモードで印字する場合。 プリンタのチャート印字をする場合。	/	MANUAL AUTO TIMER CHART
天びんの統計演算結果を印字する場合。 天びんのGLP出力を印字する場合。	設定なし	DUMP

※ マルチプリンタ AD-8127 の内部設定変更方法は AD-8127 の取扱説明書を参照してください。

天びんの内部設定

使用例	天びん <i>Print</i> データ出力モード	天びん <i>TYPE</i> データフォーマット
天びんの計量データを、天びんの PRINT キーや、天びんのオートプリントモードで印字する場合。	0, 1, 2, 4, 5	0
天びんの計量データを、プリンタの印字キーやプリンタのタイマーモードで印字する場合。 プリンタのチャート印字をする場合。	3, 6	0
天びんの統計演算結果を印字する場合。 天びんのGLP出力を印字する場合。	0, 1, 2, 4, 5, 6	1

※ 天びんの内部設定の変更方法は「8. 内部設定」を参照してください。

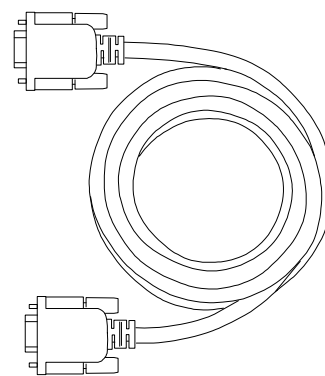
ミニプリンタ AD-8126 を使用する際の注意

- ミニプリンタ AD-8126 はダンププリンタのため、天びんから出力されたデータをそのまま印字します。
天びんの出力フォーマットの工場出荷時設定は A&D 標準フォーマットのため、ダンププリントフォーマットに変更することをお勧めします。
- 天びんをダンププリントフォーマットに設定するには、内部設定 *TYPE 1* (DP フォーマット) に設定してください。

パソコンとの接続

別売のUSBインタフェース (FXi-02) を利用すると天びんのデータを簡単にパソコンに取り込めますが、標準装備のRS-232Cインタフェースでもパソコンに接続することができます。

天びんはDCE (Data Communication Equipment) なので、パソコンとはストレートタイプのケーブルで接続します。市販のケーブルを購入する場合、一般にモデム用として市販されているものが使用できます。市販品の購入には以下の仕様を確認してください。



データ通信ソフトウェア WinCT を用いての接続

OSがWindowsのパソコンの場合、弊社ホームページよりデータ通信ソフトウェア WinCT をダウンロードしていただくことで、計量データを簡単にパソコンに転送できます。

「WinCT」の通信方法には、「RsCom」と「RsKey」、「RsWeight」の3種類あります。WinCTのインストール方法などの詳細は、WinCTの取扱説明書をご覧ください。

RsCom

- パソコンからのコマンドにより天びんを制御することができます。
- RS-232Cを介し、天びんとパソコンとの間でデータの送信、受信が行えます。
- 送信、受信した結果をパソコン画面上に表示したり、テキストファイルに保存したりすることができます。また、パソコンと接続されているプリンタにそのデータを印字できます。
- パソコンの複数のポートそれぞれに天びんを接続した場合、各天びんと同時に通信できます。
- 他のアプリケーションと同時に実行が可能です。

RsKey

- 天びんから出力された計量データを他のアプリケーション (Microsoft Excel 等) に直接転送することができます。
- 表計算 (Excel)、テキストエディタ (メモ帳、Word) などアプリケーションの種類は問いません。

RsWeight

- 天びんデータをパソコンに取り込み、リアルタイムでグラフ化することができます。
 - データの最大値、最小値、平均値、標準偏差、変動係数などを計算し、表示することができます。「WinCT」を使用することで、次のように天びんを使用することができます。
1. 計量データの集計
「RsKey」を使用すれば、計量データを Excel のワークシート上に直接入力できます。その後は Excel の機能によりデータの合計、平均、標準偏差、MAX、MIN などの集計、グラフ化ができますので、材料の分析や品質管理等に便利です。
 2. パソコンから各コマンドを出し、天びんをコントロール
「RsCom」を使用すれば、パソコン側から“リゼロコマンド”や“データ取り込みコマンド”を天びんに送信し、天びんをコントロールできます。
 3. お手持ちのプリンタに天びんGLPデータを印字、記録
天びんからのGLPデータを、お手持ちのプリンタ (パソコンに接続したプリンタ) に印字させることができます。
 4. 一定時間おきに計量データを取り込み
例えば1分間隔でデータを自動で取り込み、計量値の経時特性を得ることができます。
 5. パソコンを外部表示器として使用
「RsKey」の“テスト表示機能”を利用すれば、パソコンを天びんの外部表示器として使用できます。(天びんはストリームモード)

12-3. コマンド

コマンド一覧

- ※ コマンドには、5 iF [rLF で指定したターミネータ (CRLF または CR) を付加し天びんに送信します。

計量値を要求するコマンド	内容
C	S, S I R コマンド解除を要求する
Q	即時、一計量データを要求する
S	安定後、一計量データを要求する
S I	即時、一計量データを要求する
S I R	即時、継続した計量データを要求する (繰り返し)
E _{Sc} P	安定後、一計量データを要求する

- ※ 「Q」コマンドと「S I」コマンド、「S」コマンドと「E_{Sc}P」コマンドは同じ動作となります。

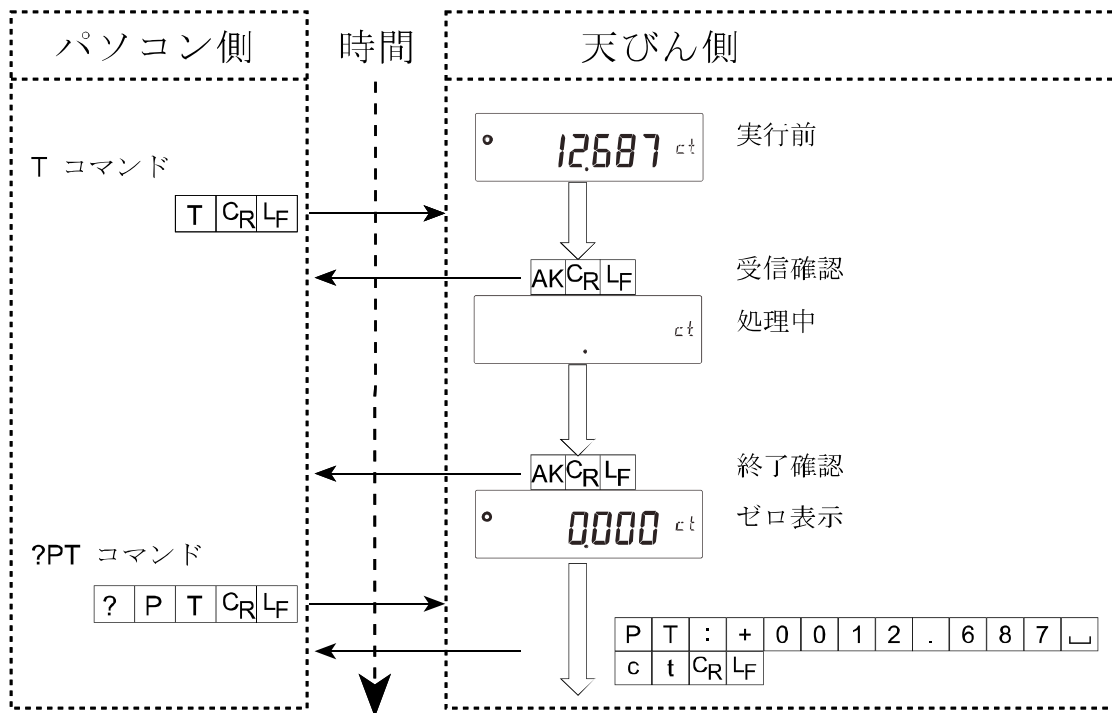
天びんを制御するコマンド	内容 (計量表示での機能)
CAL	CAL キー
EXC	外部分銅 CAL *
OFF	表示をOFFする
ON	表示をONする
P	ON:OFF キー、表示のON, OFF
PRT	PRINT キー
R	RE-ZERO キー (ゼロ表示)
SMP	SAMPLE キー (最小表示切替)
T	風袋引きキー (ゼロ表示)
Z	RE-ZERO キー (ゼロ表示)
E _{Sc} T	RE-ZERO キー (ゼロ表示)
U	MODE キー (単位切替)
?ID	IDナンバを要求する
?SN	シリアルナンバを要求する
?TN	機種名を要求する
?PT	風袋値を要求する
PT:***.***□□g	風袋値を変更する 付加する単位はそのときの計量単位で、A&D標準フォーマットの単位コード (3桁) を使用してください。
KL:***	KL:000 すべてのキーロック解除 KL:001 すべてのキーロック設定 (13. キーロック機能 参照)
?KL	すべてのキーロック状態を要求する
LK:*****	指定されたキーをロックする *****に00000~00063の数値が入る (13. キーロック機能 参照)
?LK	指定ロックされているキー状態の要求 (13. キーロック機能 参照)

- ※ 「R」コマンド、「Z」コマンド、「E_{Sc}T」コマンドは同じ動作となります。

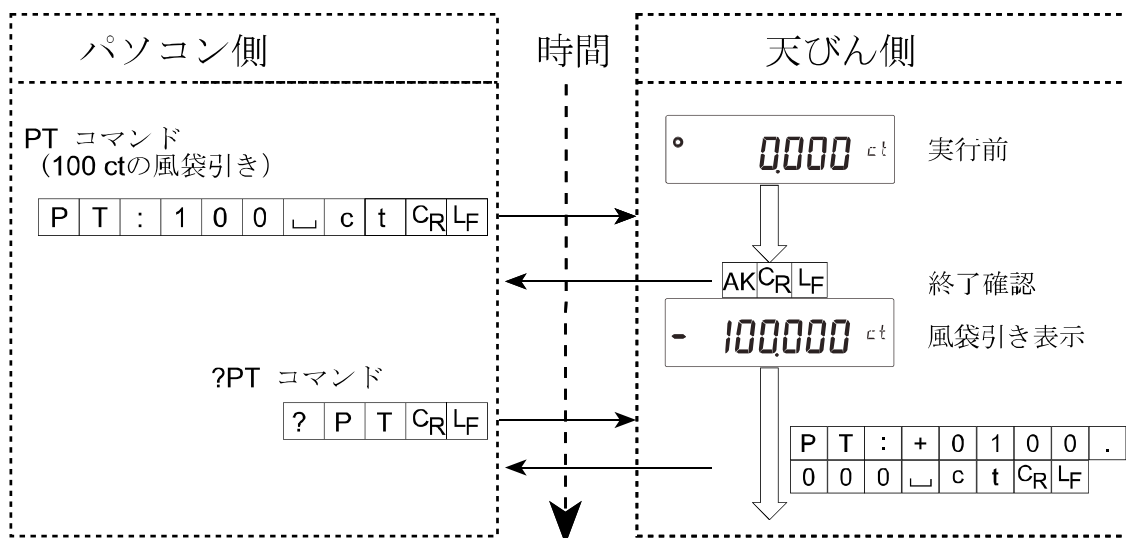
- ※ 「E_{Sc}」: ASCIIコード 1Bh

*はFZ-CTシリーズのみ。

T コマンドの例



PT コマンドの例



- ノイズ等により送信したコマンドが本来のものと変わってしまった場合や、通信上のエラー（パリティエラー等）が発生したときにもエラーコードを返します。そのときは再度コマンドを送信する等の処理が行えます。＜AK＞コードはASCIIコード06hです。

関連する設定

天びんには、RS-232C出力に関連して内部設定の「データ出力 (dout)」と「シリアルインタフェース (S iF)」があります。使用方法に応じて設定してください。

13. キーロック機能

天びんに指定のコマンドを送信すると、天びん本体のキースイッチの機能をロックすることができます。PCなどの外部機器でのみ天びんを制御したい場合に有効です。

- キーロック状態でもキー操作を行うコマンドによる動作は可能です。
(キー操作を行うコマンドは「12-3. コマンド」を参照してください。)
- キーロック状態は、天びんに状態確認コマンドを送信することで確認できます。
- キーロック状態は、天びんに解除コマンドを送信するか、ACアダプタを抜いて電源OFFにするまで保持されます。

13-1. すべてのキースイッチをロックする

KLコマンドにより、天びんのすべてのキースイッチを無効にできます。

コマンド文字列	内 容
?KL	すべてのキーロック状態を要求します。 KL,000 すべてのキーロック解除 KL,001 すべてのキーロック状態
KL:***	KL:000 すべてのキーロック解除 KL:001 すべてのキーロック設定 ***には000か001が入ります。

13-2. 指定したキースイッチをロックする

LKコマンドで指定する数値****により、任意のキースイッチを無効にできます。

数値****は、下表のキースイッチに割り当てられているbitを10進数にしたものを組み合わせて設定します。

LKコマンドは天びんソフトウェアバージョン1.860以降から対応しています。

bit	10進数	キースイッチ
0	1	ON:OFF
1	2	CAL
2	4	MODE
3	8	SAMPLE
4	16	PRINT
5	32	RE-ZERO

例) PRINT以外のキースイッチをロックする。

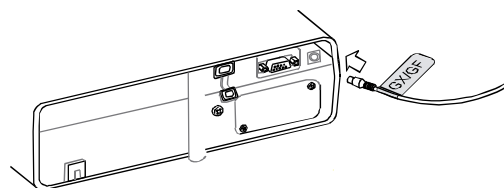
- 1 ロックするキーに対応する10進数を足し合わせます。
 $1 (\text{ON:OFF}) + 2 (\text{CAL}) + 4 (\text{MODE}) + 8 (\text{SAMPLE}) + 32 (\text{RE-ZERO}) = 47$
足し合わせた数値をLK:コマンドで天びんに送信します。LK:00047

コマンド文字列	内 容
?LK	指定ロックされているキーの状態を要求します。 例1) PRINTキー以外のキースイッチがロックされている場合。 LK,00047 例2) すべてのキースイッチがロックされていない場合。 LK,00000
LK:*****	指定したキーをロックします。 *****には00000~00063の数値が入ります。 例) PRINTキー以外のキースイッチをロックする場合。 LK:00047

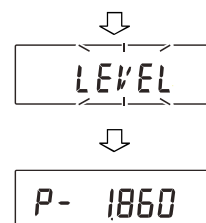
14. 天びんのソフトウェアバージョンの確認

天びんのソフトウェアバージョンにより、仕様が異なる場合があります。
以下の手順でソフトウェアバージョンの確認を行うことができます。

- 1 天びん本体のACアダプターを挿し直します。



- 2 その後、**P- ****** と表示されます。
**** に入る数字がソフトウェアバージョンになります。



15. 保守

15-1. お手入れ

- 天びんの清掃について。
有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

天びん本体	本体の清掃には、中性洗剤を湿らせた柔らかく埃の出ない布を使用してください。
風防	風防部品は帯電防止処理が施されています。 柔らかく埃の出ない布で乾拭きをしてください。 中性洗剤や水を湿らせた布で繰り返し清掃したり、水洗い等を行うと、帯電防止効果が低下することがあります。
計量皿	計量皿を清掃するときは、端面で手を傷つけないように注意してください。

- 天びんは分解しないでください。
- 輸送の際は専用の梱包箱をご使用ください。

16. トラブル（故障）への対応

16-1. 天びんの動作確認や測定環境、測定方法の確認

天びんは精密機器ですので、測定環境や測定方法によっては正しい値を得られないことがあります。測定物を何度か載せ降ろししたときに、その繰り返し性がない場合、また天びんの動作が正常でないと思われる場合、以下の項目を確認してください。各項目にてチェックし、それでも問題が解決しない場合は、修理を依頼してください。

また弊社ホームページ <<https://www.aandd.co.jp>>にて、“よくあるご質問”とその回答を掲載しておりますので、ご確認をお願い致します。

天びんが正常に動作しているかどうかの確認

- 簡単な確認方法として、校正分銅にて繰り返し性を確認してください。このとき、必ず皿の中央に分銅を載せてください。
- 正確な確認方法として、分銅値が明確となっている校正分銅にて、繰り返し性、直線性、校正値などを確認してください。

測定環境や測定方法が正しく行われているかどうかの確認

以下の各項目をチェックしてください。

測定環境のチェック

- 天びんを設置する台は、しっかりしていますか？
- 天びんの水平はとりましたか？（6ページ参照）
- 天びん周囲の風や振動は問題ありませんか？
- 天びんを設置している周囲に強いノイズ発生源（モータなど）はありませんか？

天びん使用方法のチェック

- 計量皿が風防リングの枠などに接触していませんか？（計量皿が正しくセットされていますか？）
- 測定物を載せる前に必ず **RE-ZERO** キーを押していますか？
- 測定物は皿の中央へ載せていますか？
- 計量作業の前にキャリブレーション、またはワンタッチ・キャリブレーション（FZ-CTシリーズのみ）をしましたか？
- 計量作業の前に1時間以上電源を接続してウォームアップを行いましたか？

測定物のチェック

- 測定物が周囲の温湿度等の影響により、水分の吸湿や蒸発などの現象を発生していませんか？
- 測定物の容器の温度は周囲温度になじんでいますか？（7ページ参照）
- 測定物が静電気により帯電していませんか？（7ページ参照）
- 測定物は、磁性体（鉄など）ですか？ 磁性体の測定は注意が必要です。（7ページ参照）

16-2. エラー表示 (エラーコード)

エラー表示	エラーコード	内容と対処例
Error 1	EC, E11	<p>計量値不安定 計量値が不安定のため、「ゼロ表示にする」や「キャリブレーション」などが実行できません。 皿周りを点検してください。「計量中の注意」を参照してください。 設置場所の環境（振動、風、静電気など）を改善してください。 [CAL] キーを押すと計量表示に戻ります。</p>
Error 2		<p>設定値エラー 入力した値が、設定範囲を越えています。入力し直してください。</p>
Error 7	EC, E17	<p>内蔵分銅エラー (FZ-CTシリーズのみ) 内蔵分銅の加除機構が異常です。 再度操作してください。</p>
CAL E	EC, E20	<p>CAL分銅不良 (正) 校正分銅が重すぎます。 皿周りを確認してください。校正分銅の質量を確認してください。 [CAL] キーを押すと計量表示に戻ります。</p>
-CAL E	EC, E21	<p>CAL分銅不良 (負) 校正分銅が軽すぎます。 皿周りを確認してください。校正分銅の質量を確認してください。 [CAL] キーを押すと計量表示に戻ります。</p>
E		<p>荷重超過エラー 計量値がひょう量を越えました。 皿の上のものを取り除いてください。</p>
-E		<p>荷重不足エラー 計量値が軽すぎます。 計量皿、皿受けが正しく設置されていることを確認してください。 [ON:OFF] キーを2回押して、再度計量状態にしてください。 それでも改善しない場合は、キャリブレーションを行ってください。</p>
Lo		<p>サンプル質量エラー 個数、パーセント計量のサンプル登録中、サンプル質量が軽すぎることを示しています。そのサンプルは使用できません。</p>
25 - PCS 50 - PCS 100 - PCS		<p>サンプル不足 個数計モードで、サンプル質量が軽すぎるため、そのまま登録すると計数誤差が大きくなる可能性があります。サンプルを追加せず、[PRINT] キーを押せば計数表示になりますが、正確な計数のため、表示されている数になるようサンプルを追加し [PRINT] キーを押してください。</p>
Error 0		<p>天びん内部エラー 継続して表示される場合は、修理を依頼してください。</p>
rtc PF		<p>時計のバッテリーエラー 時計のバックアップ電池がなくなりました。いずれかのキーを押した後、日付・時刻の調整を行ってください。時計のバックアップ電池がなくなっても、天びんが通電されていれば正常に動作します。頻繁にエラーが発生する場合は、修理を依頼してください。</p>
Lb		<p>ローバッテリー (電圧低下) エラー 天びんへの供給電圧が低下しています。 正しいACアダプタを使用しているか、確認してください。 充電式バッテリーユニット使用の場合は、充電してください。</p>

EC, E00	コミュニケーションエラー 通信上のエラーを検出しました。 フォーマットやボーレート等を確認してください。
EC, E01	未定義コマンドエラー 定義されていないコマンドを検出しました。 送信したコマンドを確認してください。
EC, E02	実行不能状態 受信したコマンドは実行できません。 例) 計量表示でないのにQコマンドを受けた場合 例) リゼロ実行中にQコマンドを受けた場合 送信するコマンドのタイミングを確認してください。
EC, E03	タイムオーバ t-UP I に設定したとき、コマンドの文字を受信中に約1秒間以上の待ち時間が発生しました。 通信を確認してください。
EC, E04	キャラクタオーバ 受信したコマンドの字数が許容値を越えました。 送信するコマンドを確認してください。
EC, E06	フォーマットエラー 受信したコマンドの記述が正しくありません。 例) 数値の桁数が正しくない場合 例) 数値の中にアルファベットが記述された場合 送信したコマンドを確認してください。
EC, E07	設定値エラー 受信したコマンドの数値が許容値を越えました。 コマンドの数値の設定範囲を確認してください。
その他のエラー表示	これ以外のエラー表示のとき、または上記のエラーが解消できないときは、最寄りの販売店へご連絡ください。

16-3. その他の表示



パスワード入力表示です。パスワード機能が有効の場合、計量表示になる前にパスワードの入力を求められます。パスワードを正しく入力しないと計量は行えません。

(「11. パスワード機能」参照)

16-4. 修理依頼

天びんの動作確認後の不具合や、また修理を要するエラーメッセージが発生した場合、ご購入先等へお問い合わせください。

なお、天びんは精密機器ですので、輸送時の取り扱いには注意願います。

- ご購入時に天びんが収納してあった梱包材、梱包箱を使用してください。
- 計量皿は外して輸送願います。

17. オプション・別売品

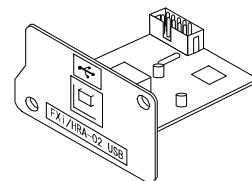
17-1. オプション

注意 FXi-02、FXi-08、FXi-09 は、同時に使うことはできません。

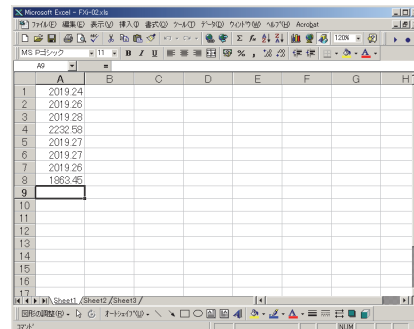
FXi-02 USBインターフェース：天びん本体に内蔵タイプ

(対応OSはWindows 98 OSR2以降となります。)

- 天びんの重量データ(数値のみ)を、USB経由でパソコンに一方向で送信することができます。
- ExcelやWord、メモ帳などに重量データ(数値のみ)を自動的に入力できます。
- ドライバのインストールは不要です。(クイックUSB)
- WinCTを使った双方向通信(Qコマンド等による重量データの受信)や、統計演算出力やGLP出力をパソコンに取り込む場合は、USBコンバータ(AX-USB-9P)を使用してください。

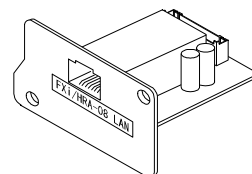


FXi-02 の使用例

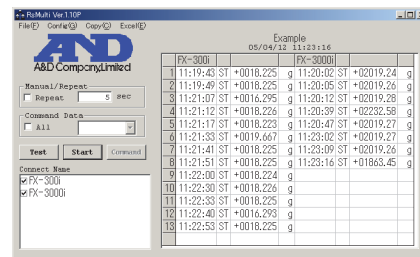


FXi-08 イーサネットインターフェース：天びん本体に内蔵タイプ

- 天びんをLAN(イーサネット)に接続し、LAN上のパソコンと双方向通信ができます。
- LAN接続用データ通信ソフトウェア「WinCT-Plus」が付属しています。
 - 1台のパソコンでLANに接続した複数の計量器のデータを収集できます。
 - パソコンのコマンドにより計量器をコントロールできます。
 - 計量器から転送されたデータを収集できます。
例：天びんの **PRINT** キーを押してデータを出力し、収集する。
 - 記録したデータを Excel で開くことができます。(Microsoft Excel を事前にインストールする必要があります。)



FXi-08 の使用例



FXi-09 内蔵バッテリーユニット(ニッケル水素充電電池)：天びん本体に内蔵タイプ

- 充電時間：約10時間
- 連続動作時間：約14時間

注意 充電時間は動作環境によって変わります。充電中、天びんは使用できません。

FXi-10 小型風防

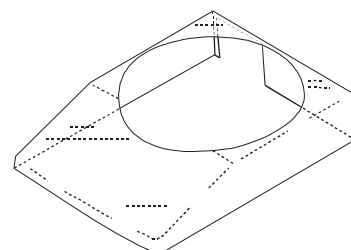
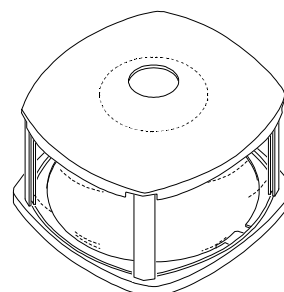
- 標準付属の大型風防より全高が低い風防です。(小型風防の全高 105 mm)

FXi-11 大型風防

- 標準付属の風防です。

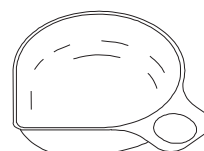
AX-FXi-31 本体カバー

- 標準で付属の本体保護カバーです。



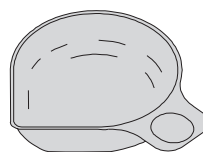
AX-CARAT PAN-WJA カラット皿（銀色）

- 標準付属のカラット皿（銀色）の2個セットです。



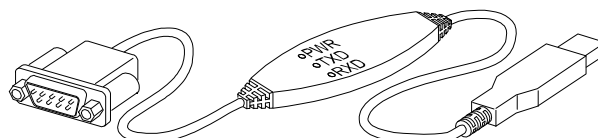
AX-CARAT PAN-BJA カラット皿（黒色）

- 標準付属のカラット皿（黒色）の2個セットです。



AX-USB-9P USBコンバータ（ケーブル長 約80 cm）：外置きタイプ

- パソコンにCOMポートを増設します。
- ドライバのインストール後、双方向の通信が可能となります。
- COMポートのないパソコンでも、USB接続で「WinCT」など、シリアル通信のソフトウェアを使用することができます。



17-2. 別売品

AD-8920A 外部表示器

- FZ-CT/FX-CTシリーズのRS-232Cインタフェースと接続し、天びんから離れた場所で計量値を読み取れます。

AD-8922A 外部コントローラ

- FZ-CT/FX-CTシリーズのRS-232Cインタフェースと接続し、天びんを遠隔操作できます。
- オプションで、アナログ出力やコンパレータ出力が取り付けられます。

AD-8126 ミニプリンタ

- 天びんとRS-232Cインタフェースで接続する小型のドットインパクトタイプのプリンタです。
- 天びんから出力されたデータをそのまま印字するダンププリンタです。

AD-8127 マルチプリンタ

- 天びんとRS-232Cインタフェースで接続する小型のドットインパクトタイプのプリンタです。
- 時計印字機能、統計演算印字機能、インターバル印字、チャート印字など多彩な機能を搭載しています。

AD-1671 除振台

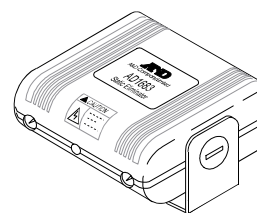
- 約27kgの質量と緩衝ゴムで床からの振動を軽減し、天びんに安定した計量表示をさせる場合に効果的です。天びん本体のスイッチ操作による傾斜は、誤差の要因になるので、外部コントローラ（AD-8922A）も併せての使用をお勧めします。

AD-1672 卓上風防

- 天びんの測定誤差となるエアコンによる風や、人の移動による風を防ぎます。
- 透明パネルには制電樹脂を使用しており、静電気の影響を低減します。

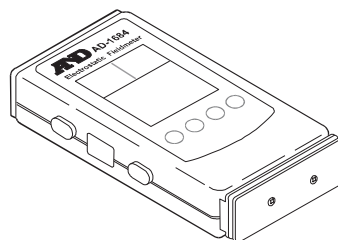
AD-1683 除電器

- 測定試料の帯電による計量誤差を防ぎます。
- 直流式でイオンの到達距離が長いので、送風がなく粉末などの精密計量に最適です。



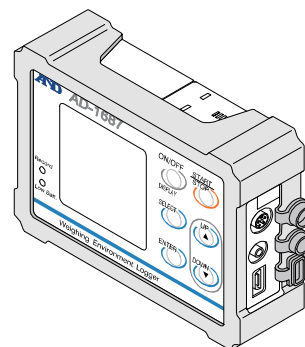
AD-1684A 静電気測定器

- 測定試料や風袋、風防など天びんの周辺機器（自動測定ラインなど）の帯電量を測定して結果を表示します。帯電している場合は、AD-1683（除電気）を使用すると除電することができます。



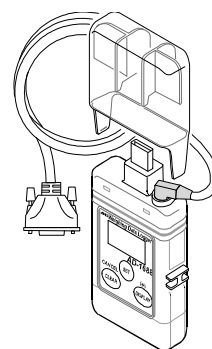
AD-1687 環境ロガー

- 温度・湿度・気圧・振動の4種類の環境センサを搭載し、単体で環境データを同時に測定・記録することができます。また、天びんのRS-232C出力と接続することにより、計量データと環境データをセットで記憶することができます。パソコンを持ち込めない環境でも、データの保存が可能です。
- 記憶したデータは、パソコンのUSBポートに接続して取り込むことができます。AD-1687はUSBメモリとして自動認識されるため、専用の取り込みソフトは不要です。



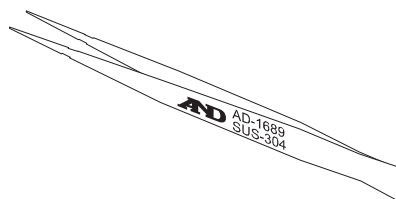
AD-1688 計量データロガー

- 天びんのRS-232Cから出力されたデータを記憶することができます。パソコンを持ち込めない環境でも計量データの保存が可能です。
- 記憶したデータは、パソコンのUSBポートに接続して取り込むことができます。AD-1688はUSBメモリとして自動認識されるため、専用の取り込みソフトは不要です。



AD-1689 分銅操作用ピンセット

- 1~500gの分銅保持用のピンセットです。



AD-8529PC-W ブルートゥースコンバータ（PC接続用）

- 天びんとパソコンを最大10mまでワイヤレス（Bluetooth®）で接続します。
- ドライバのインストールが必要です。

AD-8529PR-W ブルートゥースコンバータ（プリンタ接続用）

- 天びんとプリンタを最大10mまでワイヤレス（Bluetooth®）で接続します。

18. 仕様

	FZ-1200CT	FZ-700CT	FZ-500CT
ひょう量	1260 ct	760 ct	510 ct
	252 g	152 g	102 g
	67.2 mom	40.5 mom	27.2 mom
最大表示	1260.042 ct	760.042 ct	510.042 ct
	252.008 g	152.008 g	102.008 g
	67.202 mom	40.536 mom	27.202 mom
最小表示	0.001 ct		
	0.001 g		
	0.001 mom		
繰り返し性	0.001 ct / 0.0005 g		
直線性	±0.002 ct / ±0.001 g		
安定所要時間 ([FAST] 設定時の代表値) 注1	約 2 秒		
感度ドリフト (10 °C ~ 30 °C)	±2ppm/°C		
内蔵分銅	有り		
時計機能	有り		
動作温度・湿度範囲	5 °C ~ 40 °C、85 %RH 以下 (結露しないこと)		
表示書換周期 注2	約 5 回/秒または約 10 回/秒		
表示モード 注3	g(グラム)、pcs(個数)、%(パーセント)、ct(カラット)、mom(もんめ)		
個数モード 注3	最小単位質量	0.001 g	
	サンプル数	5、10、25、50 または 100 個	
パーセントモード 注3	最小100%質量	0.100 g	
	パーセント最小表示	0.01%、0.1%、1% (100%質量により自動切替)	
使用可能な外部校正分銅	250 g 200 g 100 g 50 g 20 g	150 g 100 g 50 g 20 g	100 g 50 g 20 g
計量皿寸法	φ 90 mm		
外形寸法	198 (W) x 294 (D) x 315 (H) mm		
本体質量	約 3.8 kg		
電源 (ACアダプタ)	ACアダプタ規格名 : TB248 入力 : AC100 V(+10 %、-15 %)、50 Hz/60 Hz 消費電力 : 約 11 VA (ACアダプタを含む)		
通信機能	RS-232C		

注1 出荷時設定は [MID]、安定所要時間 約 3.5 秒。

注2 表示書換周期の出荷時設定は約 5 回/秒。

注3 個数モード、パーセントモードを使用する場合は、それぞれのモードをあらかじめ登録する必要があります。(「8-7. 単位 (モード) 登録の解説」を参照)

	FX-1200CT	FX-700CT	FX-500CT
ひょう量	1260 ct	760 ct	510 ct
	252 g	152 g	102 g
	67.2 mom	40.5 mom	27.2 mom
最大表示	1260.042 ct	760.042 ct	510.042 ct
	252.008 g	152.008 g	102.008 g
	67.202 mom	40.536 mom	27.202 mom
最小表示	0.001 ct		
	0.001 g		
	0.001 mom		
繰り返し性	0.001 ct / 0.0005 g		
直線性	±0.002 ct / ±0.001 g		
安定所要時間 ([FAST] 設定時の代表値) 注1	約 2 秒		
感度ドリフト (10 °C ~ 30 °C)	±2ppm/°C		
内蔵分銅	無し		
時計機能	無し		
動作温度・湿度範囲	5 °C ~ 40 °C、85 %RH 以下 (結露しないこと)		
表示書換周期 注2	約 5 回/秒または約 10 回/秒		
表示モード 注3	g(グラム)、pcs(個数)、%(パーセント)、ct(カラット)、mom(もんめ)		
個数モード 注3	最小単位質量	0.001 g	
	サンプル数	5、10、25、50 または 100 個	
パーセントモード 注3	最小100%質量	0.100 g	
	パーセント最小表示	0.01%、0.1%、1% (100%質量により自動切替)	
使用可能な外部校正分銅	250 g 200 g 100 g 50 g 20 g	150 g 100 g 50 g 20 g	100 g 50 g 20 g
計量皿寸法	φ 90 mm		
外形寸法	198 (W) x 294 (D) x 315 (H) mm		
本体質量	約 3.4 kg		
電源 (ACアダプタ)	ACアダプタ規格名 : TB248 入力 : AC100 V(+10 %、-15 %)、50 Hz/60 Hz 消費電力 : 約 11 VA (ACアダプタを含む)		
通信機能	RS-232C		

注1 出荷時設定は [MID]、安定所要時間 約 3.5 秒。

注2 表示書換周期の出荷時設定は約 5 回/秒。

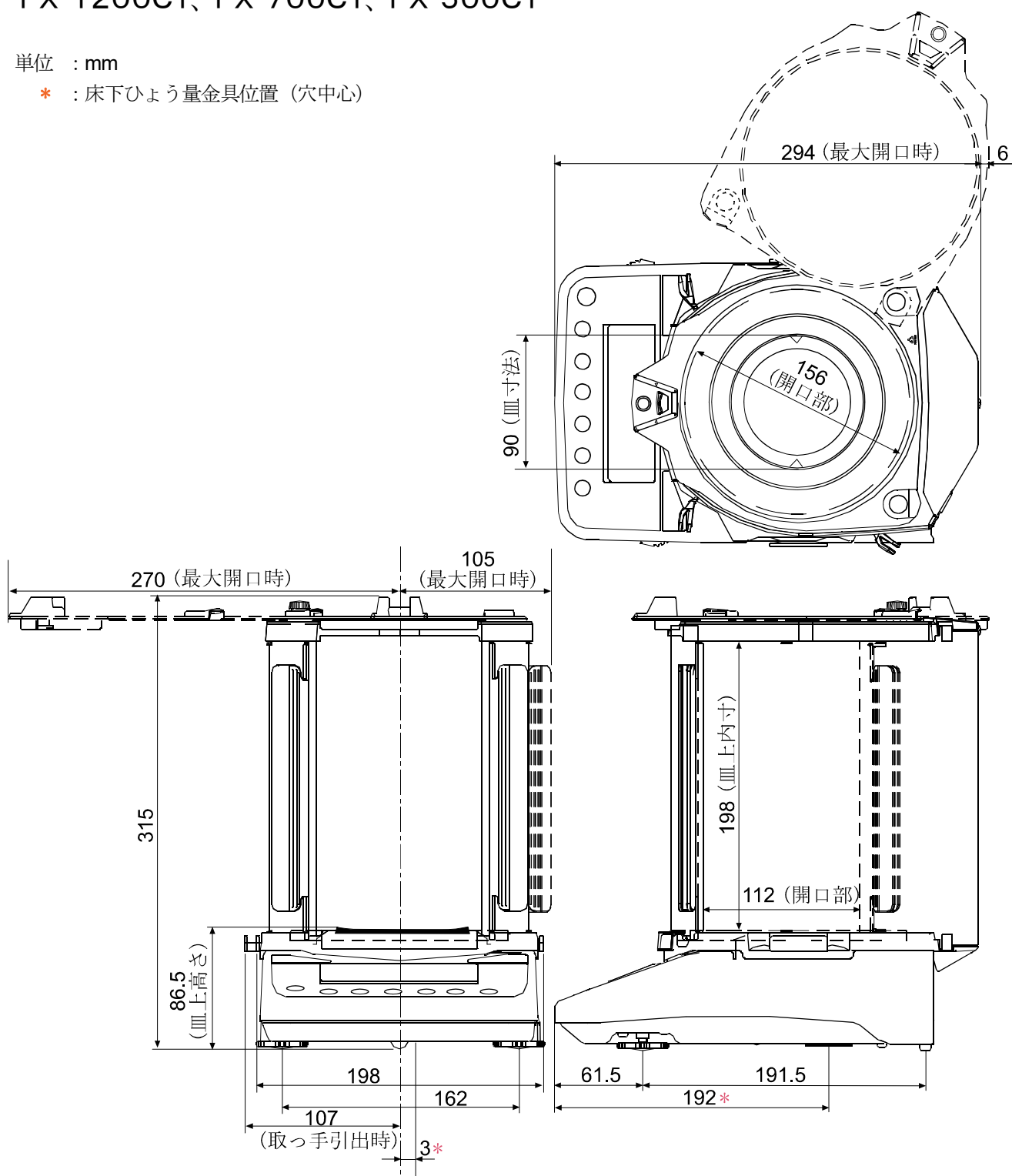
注3 個数モード、パーセントモードを使用する場合は、それぞれのモードをあらかじめ登録する必要があります。(「8-7. 単位 (モード) 登録の解説」を参照)

18-1. 外形寸法図

FZ-1200CT、FZ-700CT、FZ-500CT
 FX-1200CT、FX-700CT、FX-500CT

単位 : mm

* : 床下ひょう量金具位置 (穴中心)



19. CEマーキング

弊社の電子天びん(FZ-CTシリーズ、FX-CTシリーズ)には、CEマークが貼られています。CEマークは、製品がEC指令に於ける2004/108/EC電磁気環境適合性指令(EMC)と2006/95/EC低電圧指令(LVD)、及び2011/65/EU有害物質の使用制限(RoHS)に基づいた下記の技術基準に適合していることを示します。

EMC技術基準	EN61326	妨害波の発生/妨害波の抵抗力
LVD技術基準	EN60950	情報技術機器の安全性
RoHS技術基準	EN50581	有害物質の使用制限




















- CEマークは、欧州地域を対象とした規格となります。
他の地域での使用時には、各国の法規制に従う必要があります。

20. 用語と索引

用語

安定表示	安定マークを表示したときの計量値
環境	計量に影響する振動、風、温度変化、静電気、磁界などの総称
キャリブレーション	正しく計量できるよう天びんを感度調整することです。(Calibration)
出力	RS-232Cインタフェースからデータを出力すること。
ゼロ点	計量の基準点。天びんの計量皿に何も載っていないときの計量値(基準値)を言います。通常、基準値はゼロ表示です。
スパン値	測定物を載せた値からゼロを引いた値です。
デジット	デジタルの分解能の単位。天びんでは、表示できる最小表示を1単位とする単位です。(Digit)
風袋引き	計量皿に載っている器、皿、紙などの計量対象外の質量をキャンセルすること。
モード	天びんの目的別動作を言います。
リゼロ	表示をゼロにすること。
GLP	「医薬品の安全性試験の実施に関する基準」。(Good Laboratory Practice)
GMP	「製造管理および品質管理規則」。(Good Manufacturing Practice)
繰り返し性	同一の質量を繰り返し載せ降ろししたときの測定値のバラツキであり、通常標準偏差で表現します。 例 標準偏差=1デジットのとき、±1デジットの範囲に約68%の頻度で入ることを示します。
安定所要時間	測定物を載せてから、安定マークが点灯し、読み取れるまでの時間を示します。
感度ドリフト	温度変化が計測値に与える影響で、温度係数で示されます。 例 温度係数が2ppm/°Cで、荷重300gにて気温が10°C変化すると表示変動値は、 表示変動値 = 0.0002%/°C × 10°C × 300g = 6mg です。

索引

%	パーセント計量の単位	9, 24, 25, 26, 27, 34
○	左上点灯 安定マーク	9, 10, 23
◀	左上点灯 処理中マーク	9, 36
◀	左下点灯 スタンバイ・インジケータ	9
888	ひょう量インジケータ	9, 38
▼	右下点灯 インターバル出力スタンバイモード	9
☼	右下点滅 インターバル出力スタンバイモード	9
稼働中		9
RESPONSE [FAST] [MID] [SLOW]	計量スピードインジケータ	9
HOLD	ホールド機能 マーク	9
┌	スペース記号	31, 33
	CAL キー	9, 16, 23
	RE-ZERO キー	7
	MODE キー	9
	ON : OFF キー	9
	PRINT キー	9
	RE-ZERO キー	9
	SAMPLE キー	9
	MODE キー	9
	ON : OFF キー	9
	PRINT キー	9
	RE-ZERO キー	9
	SAMPLE キー	9
	SAMPLE キー	10
	RE-ZERO キー	10
	MODE キー	10
	ON : OFF キー	10
	SAMPLE キー	23
	RE-ZERO キー	23
	PRINT キー	23
1000%質量		37
A&D標準フォーマット		31
ACAI		36
ACアダプタ		4, 5, 8, 77, 78
ACアダプタ識別シール		4
AD-1671	除振台	74
AD-1672	卓上風防	74
AD-1683	除電器	74
AD-1684	静電気測定器	74
AD-1687	環境ロガー	74
AD-1688	計量データロガー	74
AD-1689	ピンセット	74
AD-8121B	コンパクトプリンタ	45, 62, 74
AD-8920A	外部表示器	30, 74
AD-8922A	外部コントローラ	74
AKコード		24, 25, 26, 27, 66
AP Fnc	アプリケーション	24, 25, 26, 27, 38
APPF	アプリケーション機能	24, 25, 26, 27, 38
ASCII		61, 65, 66
AUE	平均	40
AX-CARAT PAN-BJA	カラット皿 (黒色)	74
AX-CARAT PAN-WJA	カラット皿 (銀色)	74
AX-FX i-31	本体カバー	74
AX-USB-9P	USBコンバータ	74
bAS Fnc	表示・環境	38
bPS	ポーレート	24, 25, 26, 27
btPr	ビット長、パリティ	24, 25, 26, 27
[RL in	内蔵分銅によるキャリブレーション	14
[RL out	お手持ちの分銅によるキャリブレーション	16
CALコマンド		65, 66
[AN Go	データ削除する	41
[AN no	データ削除しない	41
[ANCEL	最新データ削除	41
[[out	キャリブレーション・テスト	17
[[in	内蔵分銅によるキャリブレーション・テスト	15
CEマーク		80
[L Adj	時計機能	44
[LEAR	統計データの削除	42
[Lr	初期化	22
[Lr Go	初期化する	22, 42
[Lr no	初期化しない	22, 42
[ond	応答特性	12, 28
[P	コンパレータモード	43
[P Fnc	コンパレータ	43
[P Hi	コンパレータの上限値	43
[P Lo	コンパレータの下限値	43
CR	キャリッジリターン	31, 32, 33
[rLF	ターミネータ	24, 25, 26, 27
[S in	内蔵分銅値補正	18, 19, 24, 25, 26, 27
CSVフォーマット		32
ct	カラットの単位	3, 9, 10, 24, 25, 26, 27, 34, 39
cū	変動係数	40
Cコマンド		65
DCE		64
DPフォーマット		31
d5	測定物の選択	27
d5 Fnc	密度計機能	27
ErCd	AK、エラーコード	24, 25, 26, 27, 66
FAST		9, 12, 28

FX i-02	USBインタフェース	74	SD	ヘッダ	32, 33
FX i-08	イーサネットインタフェース	74	SI	ヘッダ	32, 33
FX i-09	内蔵バッテリーユニット	74	SiF	シリアルインタフェース	24, 25, 26, 27, 31
FX i-10	小型風防	74	SIR	コマンド	65
FX i-11	大型風防	74	SI	コマンド	65
g	グラム計量の単位	3, 9, 10, 24, 25, 26, 27, 34	SLOW		9, 12, 28
GLP		3, 16, 45, 46, 47, 81	SMP	コマンド	65
GMP		3, 81	SPd	表示書換周期	12, 29
HI		9, 43	ST	ヘッダ	31, 33
Hold	ホールド機能	28	StRF	統計表示出力選択	24, 25, 26, 27
IDナンバ		24, 25, 26, 27, 45	St-b	安定検出幅	28
Info	GLP出力	43, 46	Sum	合計	40
KFフォーマット		32	S	コマンド	65
Ldin	液体密度入力方法	27	Trc	ゼロトラック	28
LF	ラインフィード	31, 32, 33	t-UP	コマンドタイムアウト	24, 25, 26, 27
LKコマンド		68	tYPE	データフォーマット	24, 25, 26, 27, 31, 32
LO		9, 35, 37, 43	T	コマンド	65
Loc na	パスワード設定	24, 25, 26, 27, 58	Unit	単位登録(モード)	24, 25, 26, 27, 34
LocFnc	パスワード機能	24, 25, 26, 27, 52	US	ヘッダ	31, 33
max	最大	40	USB		74
MID		9, 12	USB-9P		74
min	最小	40	USBコンバータ	AX-USB-9P	74
mom	もんめの単位	3, 9, 10, 24, 25, 26, 27, 34	U	コマンド	65
MTフォーマット		32	WinCT	データ通信ソフトウェア	64
NUフォーマット		32	WT	ヘッダ	31, 33
OFF	コマンド	65	Z	コマンド	65
OK		9, 43	アース端子		4
OL	ヘッダ	31, 33	足コマ		4, 5
ON	コマンド	65, 66	アプリケーション		38, 64
PASS	パスワード	73	アプリケーション機能		38
PCS	個数計の単位	3, 9, 24, 25, 26, 27, 34	安定検出幅		28
Pnt	小数点	29	安定所要時間		77, 78, 81
P-off	オートパワーオフ	29	安定表示		81
P-on	オートパワーオン	29	安定マーク		9
Prt	データ出力モード	29, 30	イーサネット		74
PRT	コマンド	65	インターバル出力モード稼動中	☀	9
PS	機能選択モード	20	インターバルモード	▼	9, 30
P	コマンド	65, 66	エラーコード		24, 25, 26, 27, 72
QT	ヘッダ	31	応答特性		28
r	範囲(最大-最小)	40	大型風防	FX i-11	3, 4
RESPONSE	応答特性	12	オートパワーオフ		29
RS-232C		4, 29, 45, 61, 64	オートパワーオン		29
RsCom	コマンドモード	64	オートプリント		29, 30
RsKey	データ転送モード	64	温度		6
rtt PF	時計のバックアップ電池切れ	44	外形寸法		77, 78
R	コマンド	65, 66	外部コントローラ	AD-8922A	74
S	ヘッダ	32, 33	外部表示器	AD-8920A	3, 30
Std	標準偏差	40	下限値		43

カラット	ct . 3, 9, 10, 24, 25, 26, 27, 34, 39	上限値	43
カラット皿	4, 74	小数点	29
環境	12, 81	消費電力	77, 78
環境ロガー	AD-1687	初期化	22
感度ドリフト	77, 78, 81	除振台	AD-1671
キー		除電器	74
CAL キー	9, 23	処理中マーク	左上点灯 ◀
MODE キー	9	シリアルインタフェース	24, 25, 26, 27, 62
ON : OFF キー	9	振動	6
PRINT キー	9, 23	水平器	4, 5, 14
RE-ZERO キー	9, 23	ストップビット	61
SAMPLE キー	9, 23	ストリームモード	30
キーの押し方	9	スパン	81
キーモード	29, 30	寸法	79
キャリブレーション	14, 16, 46, 47, 81	静電気測定器	AD-1684
内蔵分銅値補正	18, 19	静電気の影響	7
キャリブレーション	13	設置条件	6
キャリブレーション・テスト	15, 17, 47, 48	設定項目	23
キャリブレーション・テスト	13	ゼロ点	81
繰り返し性	81	ゼロトラック	28
計量皿	4	ターミネータ	24, 25, 26, 27, 31
計量皿寸法	77, 78	卓上風防	AD-1672
計量スピード	12	単位	24, 25, 26, 27, 34, 77, 78
計量データロガー	AD-1688	単位質量	35
計量モード	10	直線性	77, 78
合計	3	通信機能	77, 78
校正実行記録	16	通電	5, 6, 8
校正状態	17	データ出力	62
校正分銅	77, 78	データビット	61
小型風防	FX i-10	データフォーマット	24, 25, 26, 27, 31
個数計量	3	適性化	3
コマンドタイムアウト	24, 25, 26, 27	デジット	81
コンパレータ表示	9	電源	8, 77, 78
再現性	77, 78	伝送方式	61
最小	3	統計演算機能	38, 39, 74
最小100%質量	77, 78	動作温度・湿度範囲	77, 78
最小単位質量	77, 78	動物計量	28
最小表示	77, 78	内蔵分銅	18, 19, 24, 25, 26, 27
最大	3	パーセント計量	37
最大表示	77, 78	パーセント最小表示	77, 78
皿受け	4	パスワード	24, 25, 26, 27
サンプル数	77, 78	パソコン	3, 64
磁気の影響	7	パリティ	24, 25, 26, 27, 61
時刻	44	範囲	3
湿度	7	比重計	27
質量	77, 78	日付	44
終了	48	ビット長	24, 25, 26, 27
出力	81	表示書換周期	12, 29, 77, 78

表示の文字.....	45	ホールド機能.....	28
標準偏差.....	3	ホールド機能 <i>Hold</i>	28
ひょう量.....	77, 78	ポーレート.....	24, 25, 26, 27, 61
ひょう量インジケータ.....	9, 38	保守管理.....	8
ピンセット.....	74	本体カバー.....	4, 74
風袋引き.....	81	見出し.....	48
風防.....	4, 74	密度計.....	27
分類項目.....	23	モード.....	81
平均.....	3	文字の表示.....	45
ヘッダ.....	31, 32, 33	もんめ <i>mom</i>	10, 34
変更可能.....	20	床下ひょう量金具.....	51
変更禁止.....	20	リゼロ.....	81
変動係数.....	3		